

岐阜県感染症発生動向調査年報

2016年（平成28年）

岐阜県保健環境研究所

目次

I	感染症発生動向調査事業の概要	1
II	感染症発生動向調査結果	
1	全数把握対象感染症	3
(1)	一類、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症	3
(2)	二類感染症	3
(3)	三類感染症	4
(4)	四類感染症	5
(5)	五類感染症	6
2	定点把握対象の五類感染症	9
(1)	インフルエンザ定点	9
(2)	小児科定点	11
(3)	眼科定点	22
(4)	基幹定点	24
(5)	性感染症定点	31
3	感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	35
	集計表	36

I 感染症発生動向調査事業の概要

平成 11 年 4 月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、感染症発生動向調査は感染症対策の主要な柱の一つとして位置づけられた。その内容は、感染症の発生情報の把握・分析と結果の提供・公開であり、岐阜県では国の定める「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき「岐阜県感染症発生動向調査事業実施要領」を定め、保健環境研究所内に岐阜県感染症情報センター（岐阜県の基幹地方感染症情報センター）を設置し、医療機関協力の下、本事業を実施している。

1 調査対象疾患

本事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握対象感染症 87 疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症）と、指定届出機関が報告を行う定点把握対象感染症 27 疾患（五類感染症の一部及び感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）を対象としている（2016 年 12 月 31 日時点）。

2 指定届出機関

定点把握対象感染症の報告を行う指定届出機関（患者定点）は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点、性感染症定点及び疑似症定点からなり、各定点の指定数は下表のとおりである。また、患者定点の中から病原体定点を選定し、病原体検索のため検体の提供を受けている。

表 指定届出機関の指定数（2016 年 12 月 31 日時点）
（数字は患者定点の数、カッコ内の数字は病原体定点の数）

定点種別	全県	保健所							
		岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ定点	87 (10 ^{※1})	14 (2)	17 (1)	15 (2)	8 (1)	8 (1)	8 (1)	7 (1)	10 (1)
小児科定点	53 (6 ^{※2})	9 (1)	10 (1)	9 (1)	5 (1)	5	5 (1)	4	6 (1)
眼科定点	11 (2)	2	2 (1)	3	-	1	1 (1)	1	1
性感染症定点	15	3	2	3	1	2	2	1	1
疑似症定点	101	23	17	19	12	7	10	7	6

定点種別	全県	圏域				
		岐阜	西濃	関	東濃	飛騨
基幹定点	5 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

※1 2016 年 4 月 1 日に 12 定点（岐阜市 2、岐阜 2、西濃 1、関 1、可茂 2、東濃 1、恵那 2、飛騨 1）から 10 定点に変更

※2 2016 年 4 月 1 日に 8 定点（岐阜市 2、岐阜 2、西濃 1、関 1、可茂 1、飛騨 1）から 6 定点に変更

3 患者情報の収集

患者情報は、全数把握対象感染症は診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内）、定点把握対象感染症は週または月単位で、感染症発生動向調査システムにより、医療機関から保健所を通じて岐阜県感染症情報センターで収集している。また、収集した情報は、中央感染症情報センター（国立感染症研究所）に報告している。

4 病原体情報の収集

病原体定点から提供される検体や、医療機関等で患者から分離された病原体を収集し、岐阜県

保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において検査を実施し県内の病原体情報を収集している。収集した情報は、感染症発生動向調査システムにより中央感染症情報センターに報告している。

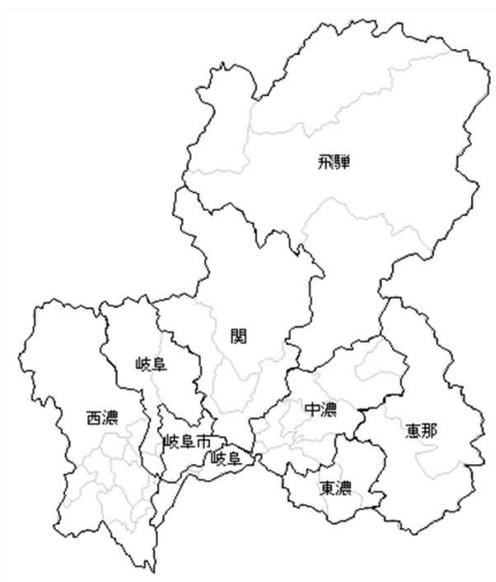
なお、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正により、2016年4月から病原体定点からの検体提出の頻度に変更された。

5 情報の解析・発信

収集した情報は週単位で集計・解析し、「岐阜県感染症発生動向調査週報」としてホームページに公開し、県内の医療機関、保健所、教育委員会等の関係機関に提供している。また、保育所や高齢者施設等の福祉施設や県民に対して、感染症の発生動向や予防方法をわかりやすく解説した「ぎふ感染症かわら版」の発行も行っている。

さらに、学識経験者、医療関係者、行政関係機関職員等で構成される岐阜県感染症サーベイランス解析評価小委員会を月1回開催し、収集した情報の解析・評価を行うとともに情報共有を図っている。

(参考) 保健所区分



医療圏	保健所	市町村
岐阜	岐阜市	岐阜市
	岐阜	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃	西濃	大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町
中濃	関	関市、美濃市、郡上市
	可茂	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
東濃	東濃	多治見市、瑞浪市、土岐市
	恵那	恵那市、中津川市
飛騨	飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

Ⅱ 感染症発生動向調査結果

2016年に感染症発生動向調査において得られた患者情報および病原体情報は次のとおりであった。

なお、全数把握対象感染症および週報告対象の定点把握対象感染症については、2016年第1週～第52週（2016年1月4日～2017年1月1日）に、月報告対象の定点把握対象感染症については、2016年1月1日～12月31日に診断された患者を集計対象とした。

また、病原体情報は、届出症例の検体について岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において実施した検査結果を示し、届出症例以外の疑い症例等を含む病原体検査実施状況については、巻末の集計表に示した。

1 全数把握対象感染症

(1) 一類、新型インフルエンザ等感染症^{※1}及び指定感染症^{※2}

一類感染症の報告はなかった。

※1及び2 該当なし

(2) 二類感染症

結核 475 例の報告があった。

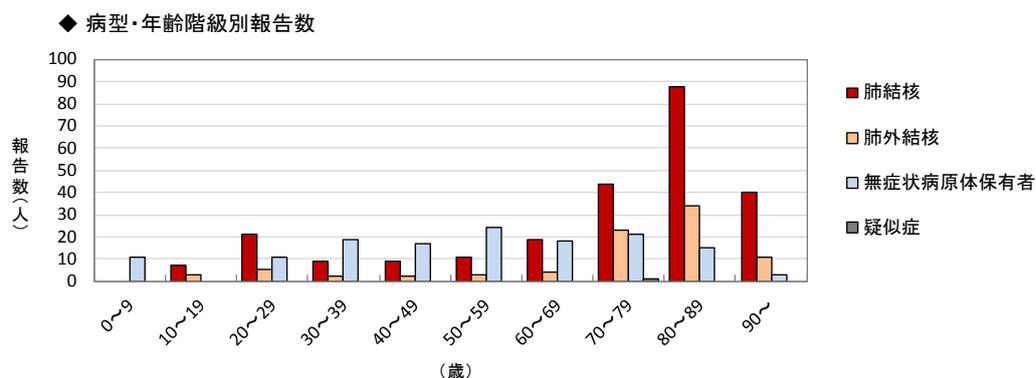
a. 結核

患者情報

2016年の患者報告数は475例で、前年（421例）と比べて増加した。患者（活動性結核）が335例（70.5%）、無症状病原体保有者（潜在性結核）が139例（29.3%）、疑似症が1例であった。報告患者全体に占める活動性結核の割合は、前年（317例、73.4%）よりわずかに減少した。また、活動性結核の病型は、肺結核（肺外結核の併発を含む。）が248例、肺外結核が87例であった。

年齢階級別では、活動性結核は高齢者が多く、80歳以上が肺結核の51.4%、肺外結核の51.7%を占めた。70歳未満では、20歳代で活動性結核が多かった。

2016年は、県内の高齢者福祉施設における集団発生事例があり、475例中31例が当該事例に関連する患者であった。



(3) 三類感染症

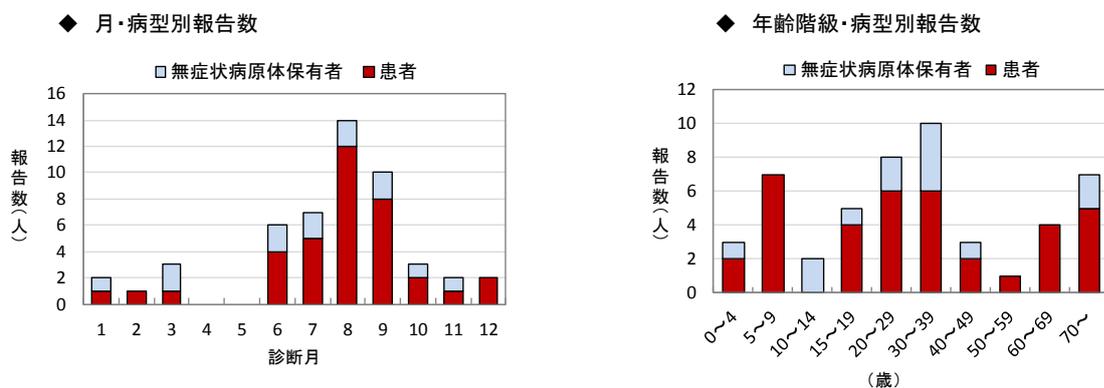
腸管出血性大腸菌感染症 50 例、腸チフス 1 例の報告があった。

a. 腸管出血性大腸菌感染症

患者情報

2016 年の患者報告数は 50 例で、2015 年の 27 例、2014 年の 37 例と比べて増加した。

50 例中、患者が 37 例、無症状病原体保有者が 13 例であった。6～9 月に報告が増加し、8 月が最も多かった。菌の血清型は O157 が 35 例、O26 が 6 例、O103 が 4 例、O115 が 3 例、O137 及び O145 が各 1 例であった。また、HUS 発症例が 1 例（後に死亡）報告された。小児から成人まで幅広い年齢の患者が報告された。また、保健所別では、50 例中 26 例が飛騨保健所管内の報告であった。



病原体情報

届出患者 42 症例から分離された菌株の同定検査の結果は下表のとおりであった。

◆ 腸管出血性大腸菌感染症患者から分離された菌株の同定結果

菌種、血清型等	株数
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	10
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	2
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	15
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT2	1
<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1	6
<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1	3
<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1	3
<i>Escherichia coli</i> O137:H41 VT2	1
<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT1	1

b. 腸チフス

患者情報

2016 年は 1 例の報告があり、国内感染例であった。

病原体情報

届出患者から分離された菌株の同定検査の結果、*Salmonella Typhi* と確認された。

(4) 四類感染症

E 型肝炎 3 例、A 型肝炎 1 例、つつが虫病 27 例、デング熱 3 例、ボツリヌス症 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 38 例の報告があった。

a. E 型肝炎・A 型肝炎

患者情報

2016 年の患者報告数は E 型肝炎 3 例、A 型肝炎 1 例であった。前年（E 型肝炎、A 型肝炎ともに報告なし）より増加したが、2014 年（E 型肝炎 3 例、A 型肝炎 2 例）と同程度であった。E 型肝炎は、60 歳代男性、40 歳代女性、50 歳代女性が各 1 例で、推定感染地は国内 2 例、国外 1 例であった。A 型肝炎は、40 歳代男性で、推定感染地は国外であった。

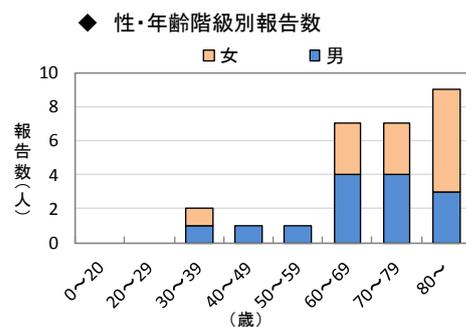
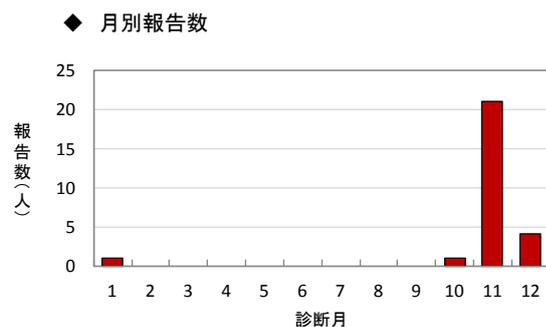
病原体情報

E 型肝炎の届出患者 2 症例の検体を検査した結果、2 例とも E 型肝炎ウイルスが検出された。

b. つつが虫病

患者情報

2016 年の患者報告数は 27 例で、2015 年の 16 例、2014 年の 9 例と比べて増加した。患者の報告は 11 月に集中していた。男性 14 例、女性 13 例で、60 歳以上が全体の 85.2% を占めた。



c. デング熱・マラリア

患者情報

2016 年の患者報告数は、デング熱 3 例、マラリア 1 例で、デング熱は前年（6 例）より減少、マラリアは前年（1 例）と同数であった。

デング熱の病型はすべてデング熱であり（デング出血熱なし）、推定感染地域はスリランカ、インドネシア、フィリピンが各 1 例であった。マラリアの病型は熱帯熱マラリアで、推定感染地域はアンゴラであった。

病原体情報

デング熱の届出患者 3 症例の検体を検査した結果、3 例ともデングウイルスが検出され、ウイルスの血清型は 1 型、2 型、3 型が各 1 例であった。

d. ボツリヌス症

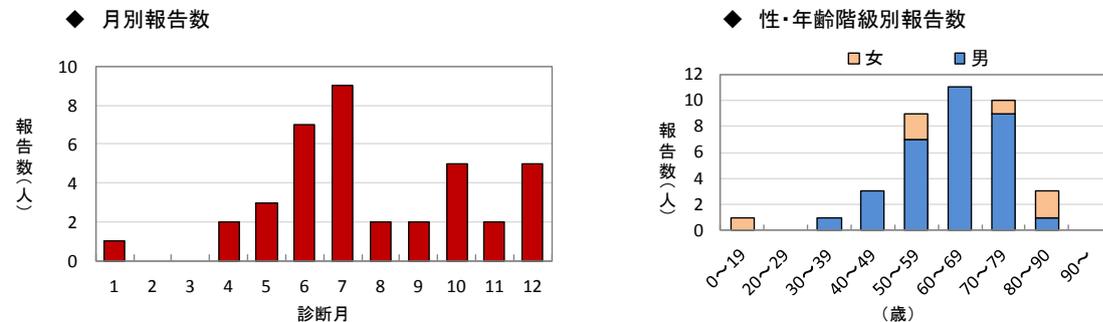
患者情報

2016 年の患者報告数は 1 例であった。患者は 0 歳女性で、病型は乳児ボツリヌス症であった。

e. レジオネラ症

患者情報

2016年の患者報告数は38例で、報告の始まった1999年以降最多の報告数であった。年間を通じて報告があったが6～7月に多かった。患者の病型はすべて肺炎型で、男性が32例（84.2%）と多く、そのうち50～70歳代が27例（男性の84.4%）であった。



病原体情報

届出患者6症例の検体（または分離菌株）の検査の結果、3症例から *Legionella pneumophila* 血清群1が検出された。

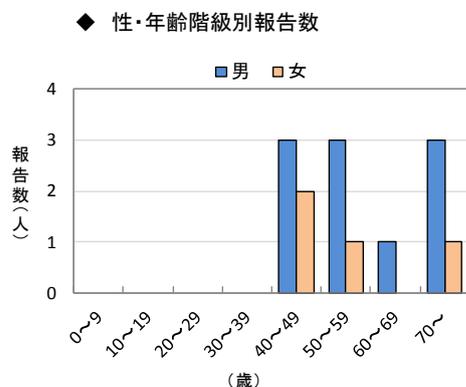
(5) 五類感染症

アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群26例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症47例、水痘（入院例に限る）6例、梅毒33例、播種性クリプトコックス症4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例の報告があった。

a. アメーバ赤痢

患者情報

2016年の患者報告数は14例で、前年（16例）と同程度であった。患者の病型は、腸管アメーバ症が13例、腸管外アメーバ症が1例であった。男性10例、女性4例で、年齢はすべて40歳以上であった。推定感染地は、国内11例、国外3例であった。



b. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者情報

2016年の患者報告数は9例で、前年（8例）と同程度であった。患者の年齢は、50歳代1例、60歳代1例、70歳代5例、80歳代2例であった。

病原体情報

届出患者9症例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

◆ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

菌種名	カルバペネマーゼ産生	株数
<i>Escherichia coli</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Escherichia coli</i>	-	1
<i>Enterobacter asburiae</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Enterobacter aerogenes</i>	-	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	-	3
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	1
<i>Serratia marcescens</i>	-	1

c. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

患者情報

2016年の患者報告数は6例で、前年（3例）より増加した。患者の年齢は、10歳未満が1例、60歳代が2例、80歳代が2例、90歳代が1例であった。

病原体情報

届出患者3症例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

◆ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

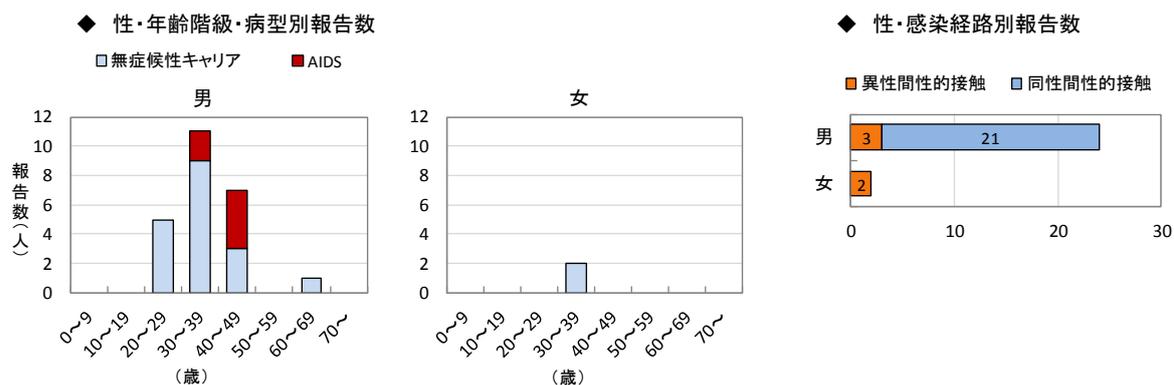
菌種名	株数
<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	1
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1
<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1

d. 後天性免疫不全症候群

患者情報

2016年の患者報告数は26例で、2015年の23例、2014年の21例と比べて増加した。

病型別では、AIDSが6例、無症候キャリアが20例であり、AIDSは前年（10例）より減少した。男性が24例、女性が2例で、無症候性キャリアは30歳代が、AIDSは40歳代が多かった。感染経路は、男性では同性間性的接触が21例、異性間性的接触が3例、女性2例はともに異性間性的接触であった。

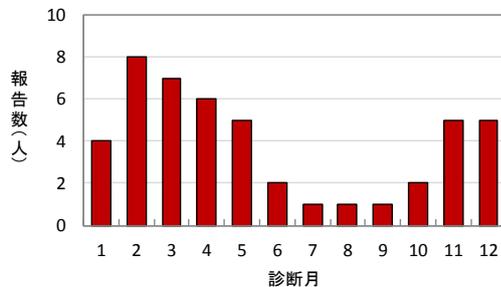


e. 侵襲性肺炎球菌感染症

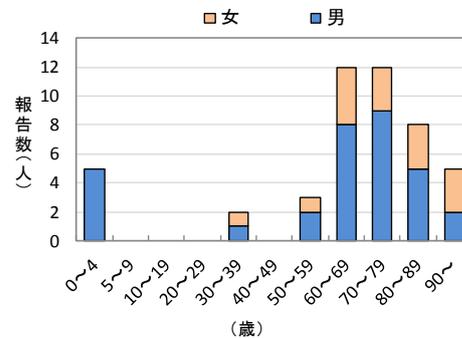
患者情報

2016年の患者報告数は47例で、前年（43例）と同程度であった。1～5月、11～12月の報告が多かった。患者は男性が32例（68.1%）と多く、年齢は60歳以上が全体の78.7%を占めた。

◆ 月別報告数



◆ 性・年齢階級別報告数



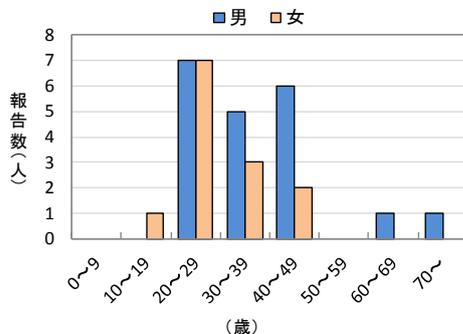
f. 梅毒

患者情報

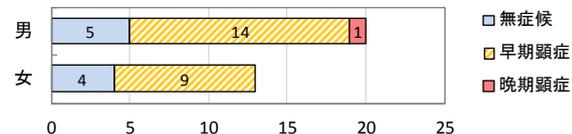
2016年の患者報告数は33例で、報告の始まった1999年以降最多の報告数であった。

病型別では、早期顕症梅毒が23例、晩期顕症梅毒が1例、無症候が9例であった。男性20例、女性13例で、男性では20～40歳代、女性では20歳代が多かった。感染経路は男女ともに異性間性的接触によるものが多かったが、男性では同性間性的接触によるものもあった。

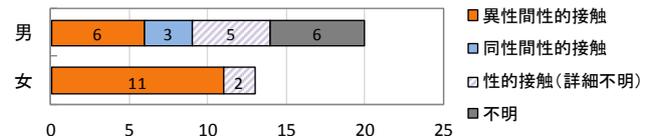
◆ 性・年齢階級別報告数



◆ 性・病型別報告数



◆ 性・感染経路別報告数



g. 麻しん・風しん

患者情報

2016年は麻しんの報告はなく、風しんは3例報告があった。

風しんは、3例とも検査診断例であった。3例とも男性で、年齢は30歳代、40歳代、60歳代が各1例、予防接種歴は無しが1例（40歳代）、不明が2例（30歳代および40歳代）であった。

病原体情報

風しんの届出患者3症例の検体を検査した結果、2例（30歳代および40歳代）から風しんウイルスが検出された。

2 定点把握対象の五類感染症

(1) インフルエンザ定点

a. インフルエンザ

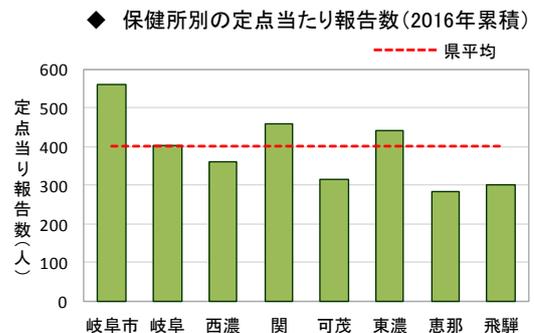
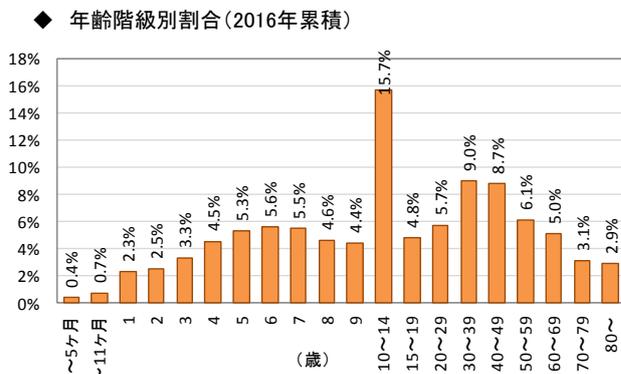
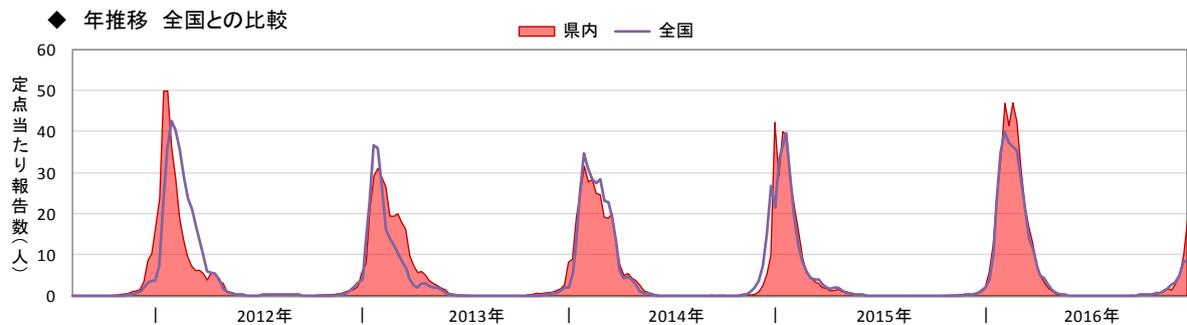
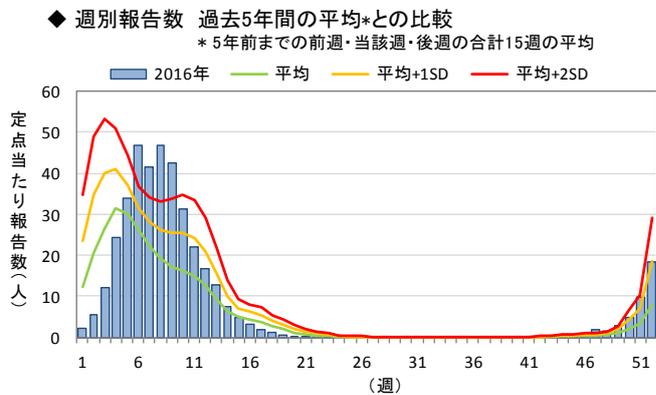
患者情報

2016年の累積患者報告数は34,812人（定点当たり400.32人）で、前年（定点当たり255.66人）と比べて増加した。

2015/16シーズンは、2015年第53週（12/28～1/3）に定点当たり1.38人となり例年より遅い流行入りとなった。流行入り後、患者報告数は急増し、2016年第6～8週（2/8～28）は高いレベルで推移し、第8週（2/22～28）に定点当たり46.95人とシーズン最高値となった。第10週（3/7～13）以降は減少に転じた。

2016/17シーズンは、2016年第46週（11/14～20）に定点当たり1.01人となり、例年より早い流行入りとなった。

年齢階級別では10歳未満が全体の39.0%、10～14歳が15.7%を占めた。成人では、30～40歳代が多かった。

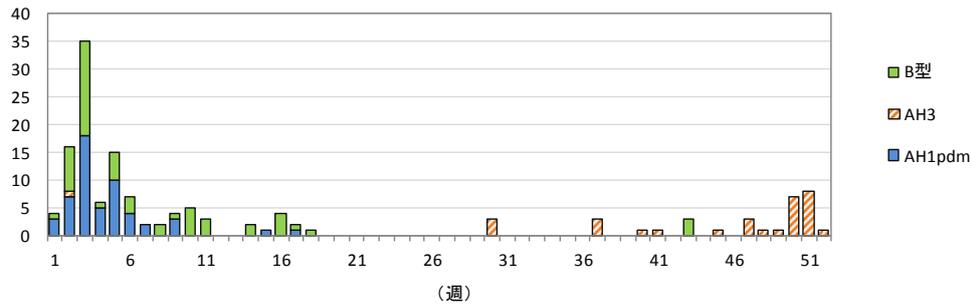


病原体情報

インフルエンザ患者等※182 症例の検体を検査した結果、130 例からインフルエンザウイルスが検出された。型・亜型の内訳は、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が 54 例、AH3 が 31 例、B 型が 47 例であった（AH1pdm09 と B 型の重複検出 2 例を含む）。2015/16 シーズンは AH1pdm09 が、2016/17 シーズンは AH3 が A 型の主流であった。

※インフルエンザと診断された患者の他、急性脳炎等の患者においてインフルエンザウイルスの検索を行った症例を含む。

◆ 週別検出状況

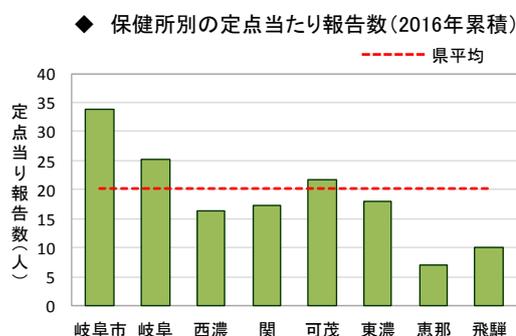
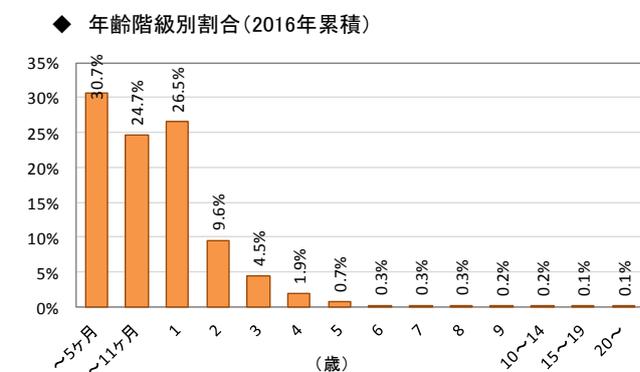
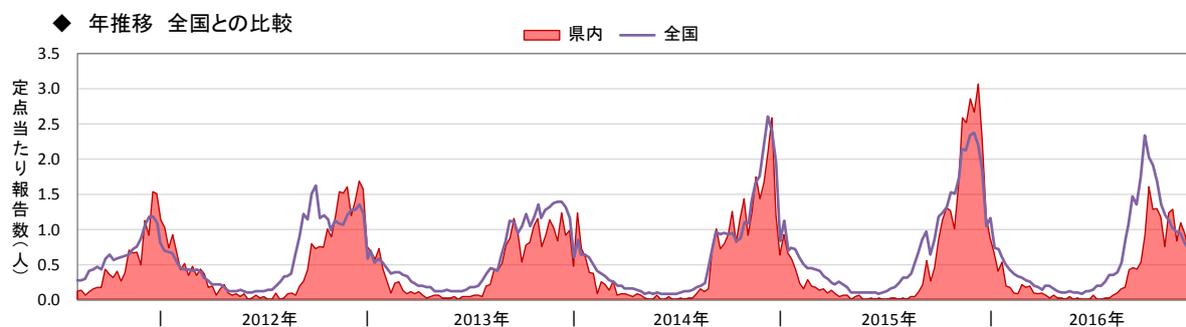
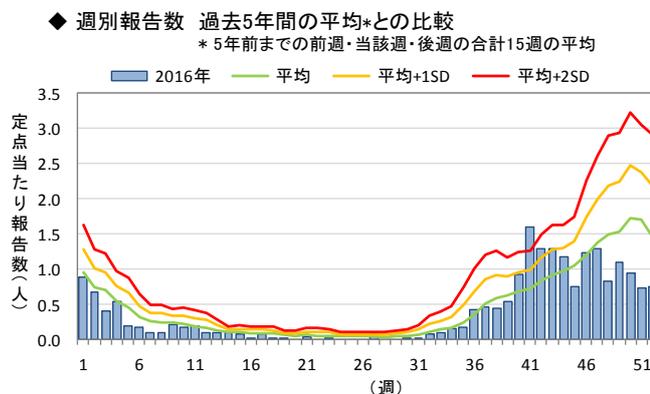


(2) 小児科定点

a. RSウイルス感染症

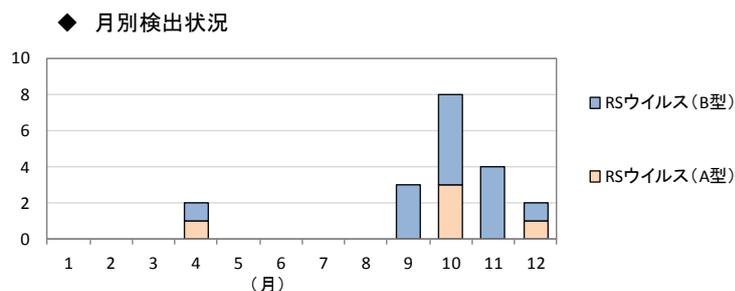
患者情報

2016年の累積患者報告数は1,074人（定点当たり20.29人）で、前年（定点当たり31.05人）と比べて減少した。第36週（9/5～11）から患者報告数が増加し始め、第41週（10/10～16）に定点当たり1.60人となりシーズン最高値となった。前2年と比べて、12月の患者報告数は少なかった。

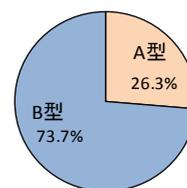


病原体情報

RSウイルス患者23症例の検体を検査した結果、19例からRSウイルスが検出された。ウイルスの血清型別はA型が5例、B型が14例であった。



◆ 2016年累積 (n=19)



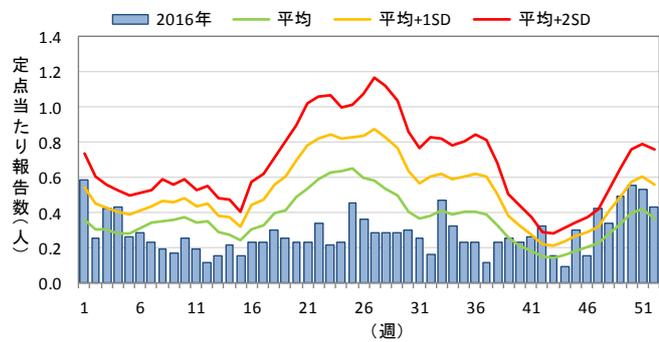
b. 咽頭結膜熱

患者情報

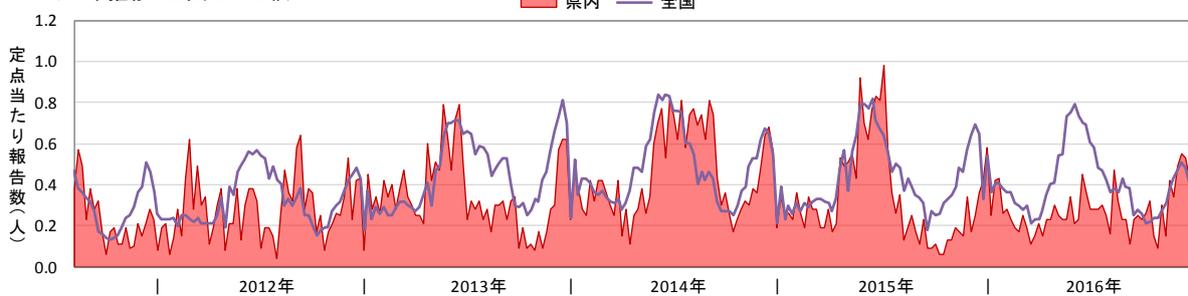
2016年の累積患者報告数は771人（定点当たり14.56人）で、前年（定点当たり17.53人）と比べて減少した。過去3年と比べて夏期の流行が小さく、春～秋は過去5年の平均と比べて、また全国と比べても低いレベルで推移した。第47～52週（11/21～1/1）に患者報告数の増加がみられた。保健所別では、恵那保健所管内で報告が多かった。年齢階級別では1～4歳が多く、1～4歳で全体の68.5%を占めた。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均+との比較

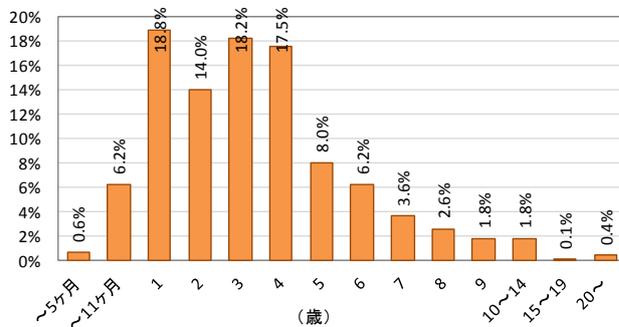
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



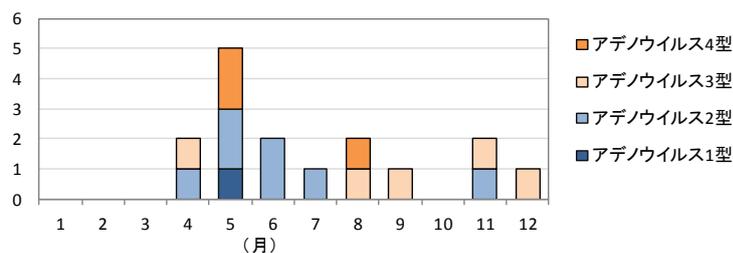
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



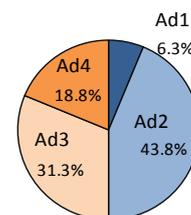
病原体情報

咽頭結膜熱患者17症例の検体を検査した結果、16例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が7例、同3型が5例、同4型が3例、同1型が1例であった。

◆ 月別検出状況



◆ 2016年累積 (n=16)

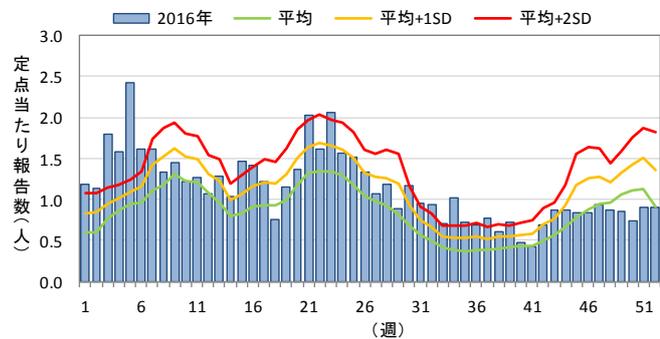


c. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

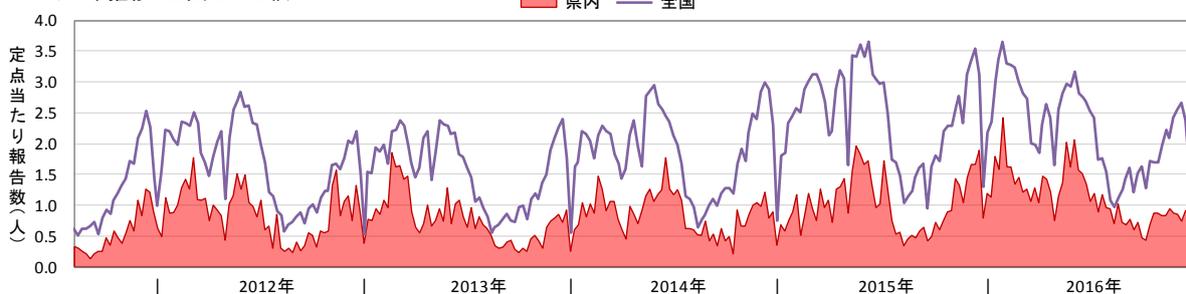
患者情報

2016年の累積患者報告数は3,128人（定点当たり59.09人）で、前年（定点当たり53.38人）と比べて増加した。1～11月までは過去5年間の平均より高いレベルで推移し、特に第3～7週（1/18～2/21）、第21～23週（5/23～6/12）に患者報告数が増加した。全国と比べると患者報告数は少なかった。年齢階級別では、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。保健所別では、岐阜、飛騨保健所管内で報告が多かった。

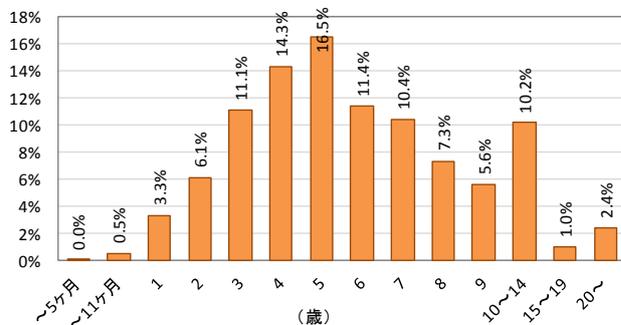
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



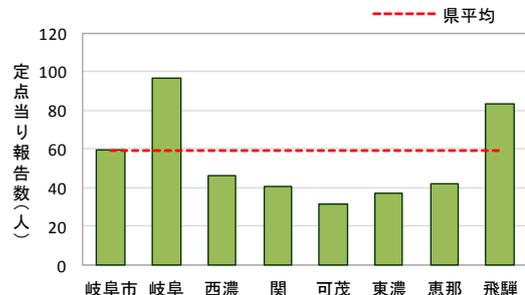
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



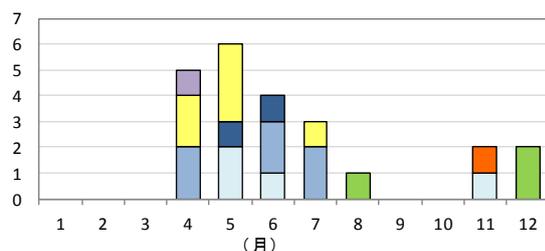
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



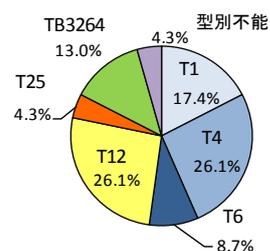
病原体情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者23症例の検体を検査した結果、23例から *Streptococcus pyogenes* がされ、T型別はT4およびT12が各6例、T1が4例、TB3264が3例、T6が2例、T25およびT型別不能が各1例であった。

◆ 月別検出状況



◆ 2016年累積 (n=23)

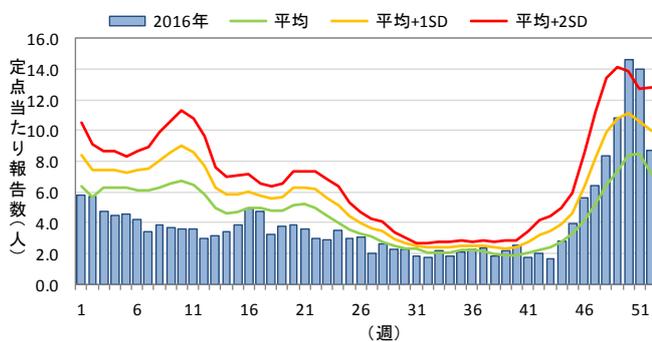


d. 感染性胃腸炎

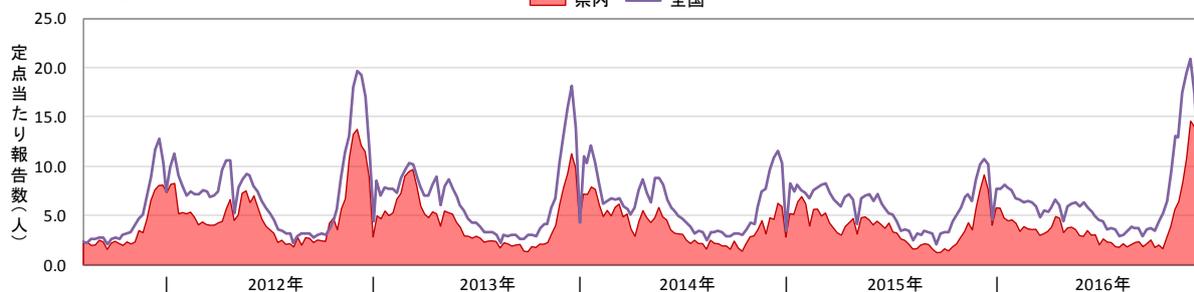
患者情報

2016年の累積患者報告数は11,148人（定点当たり210.58人）で、前年（定点当たり205.04人）よりわずかに増加した。年明けから夏頃までは過去5年の平均より低いレベルで推移したが、第44週（10/31～11/6）以降患者報告数が増加し、年末にかけて過去5年の平均を上回る大きな流行となった。流行のピークは第50週（12/12～18）の定点当たり14.57人で、過去5年間で最も高かった。保健所別では、岐阜、関保健所管内で報告が多かった。

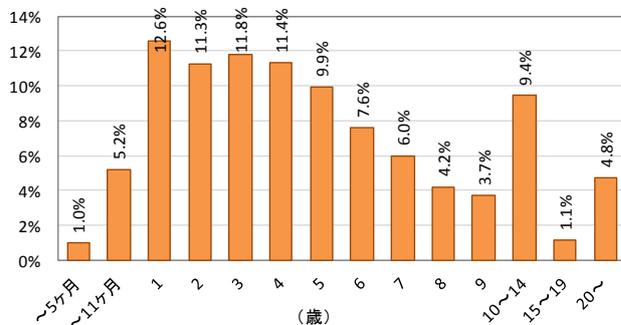
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



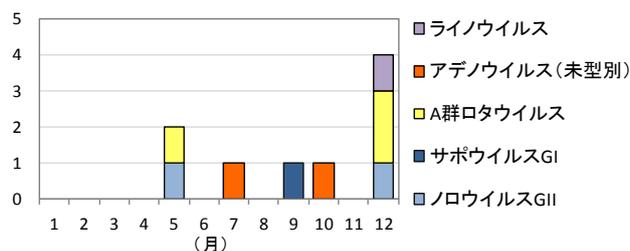
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



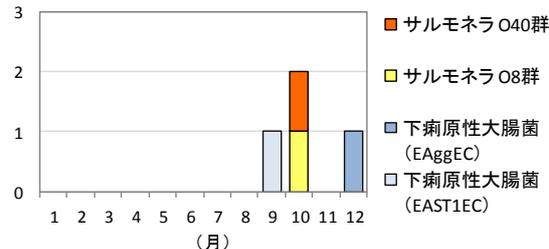
病原体情報

感染性胃腸炎患者18症例の検体を検査した結果、9例からウイルス、4例から細菌が検出された。その内訳は、A群ロタウイルス3例、ノロウイルス GII およびアデノウイルス（未型別）各2例、サポウイルス GI およびライノウイルス各1例、サルモネラおよび下痢原性大腸菌が各2例であった（ノロウイルス GII、ライノウイルス、下痢原性大腸菌の重複検出1例を含む）。

◆ 月別検出状況(ウイルス)



◆ 月別検出状況(細菌)



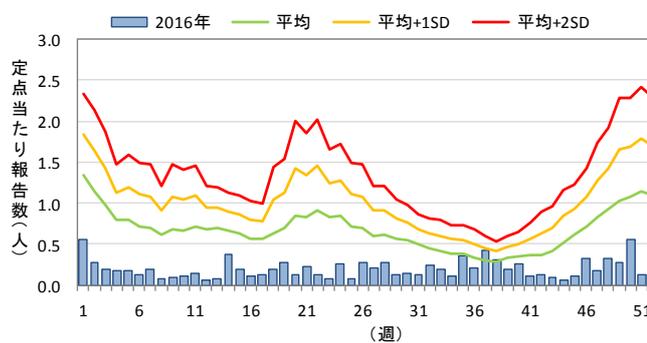
e. 水痘

患者情報

2016年の累積患者報告数は550人（定点当たり10.39人）で、前年（定点当たり11.64人）と比べて減少した。年間を通じて過去5年間の平均よりかなり低いレベルで推移した。全国と比べても低いレベルで推移した。年齢階級別では、5歳（24.5%）、4歳（16.2%）、6歳（12.0%）の順に多かった。保健所別では、岐阜、恵那保健所管内で報告が多かった。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

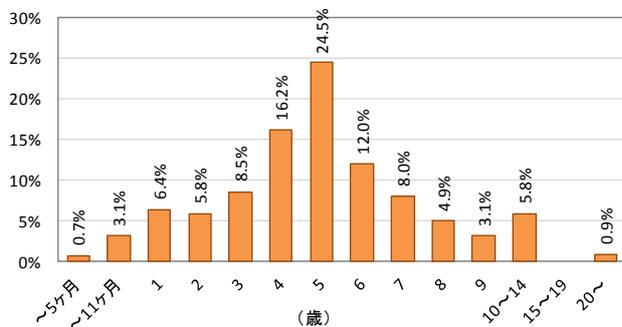
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)

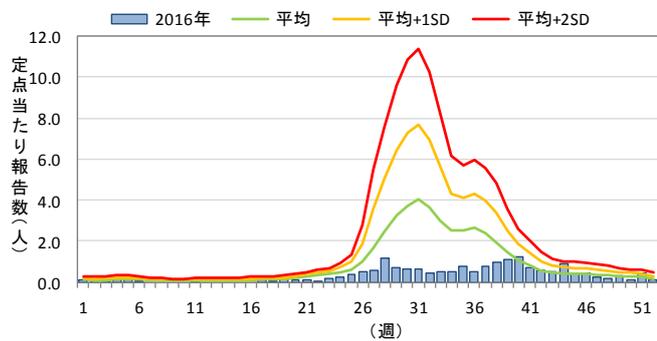


f. 手足口病

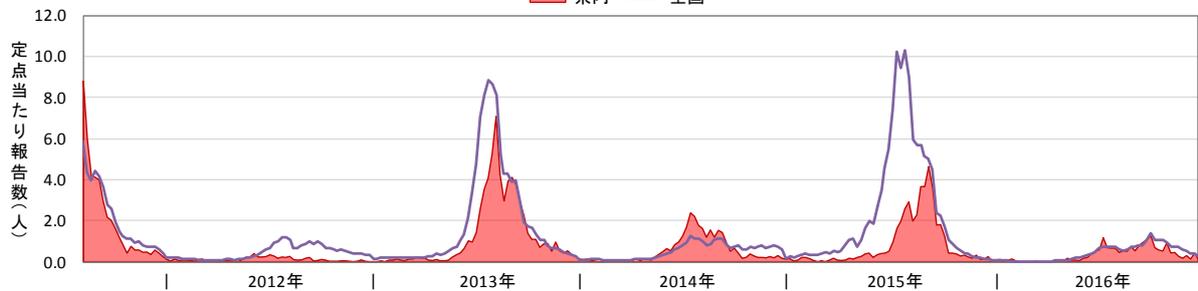
患者情報

2016年の累積患者報告数は943人（定点当たり17.81人）で、前年（定点当たり42.73人）と比べて減少した。第25週（6/20～26）から患者報告数の増加がみられ、年末にかけてなだらかな流行がみられた。年間の最高値は、第40週（10/3～9）の定点当たり1.25人で、直近5年では2012年に次いで低かった。年齢階級別では、1歳が最も多く全体の30.8%を占めた。保健所別では、岐阜保健所管内の報告が多かった。

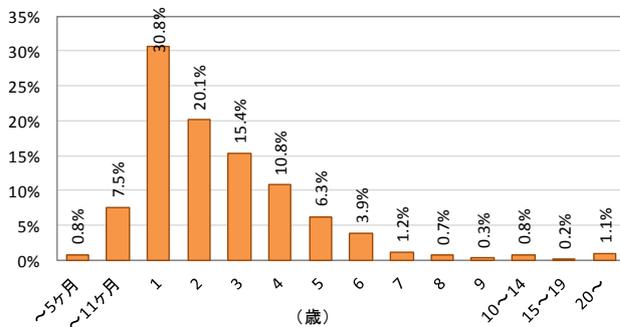
◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



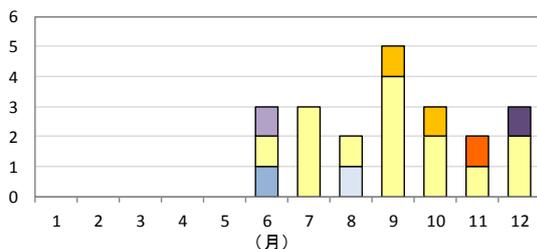
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



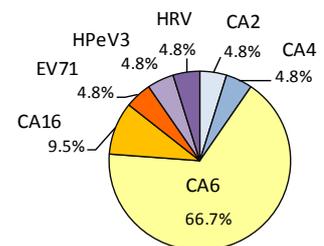
病原体情報

手足口病患者 23 症例の検体を検査した結果、20 例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A6 型が 14 例、同 A16 型が 2 例、同 A2 型、同 A4 型、エンテロウイルス 71 型、ヒトパレコウイルス 3 型、ライノウイルスが各 1 例であった（コクサッキーウイルス A6 型とライノウイルスの重複検出 1 例を含む）。

◆ 月別検出状況



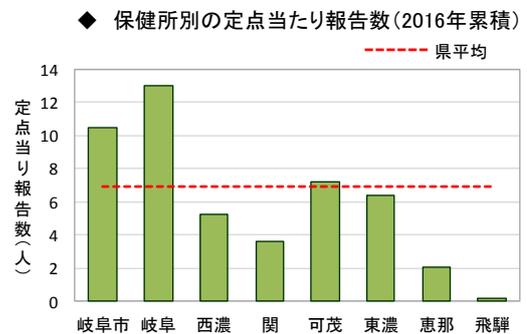
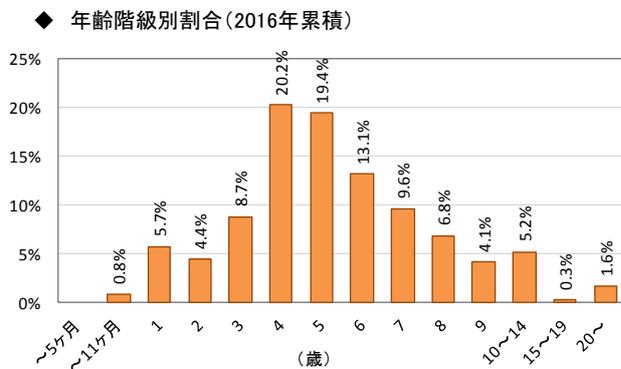
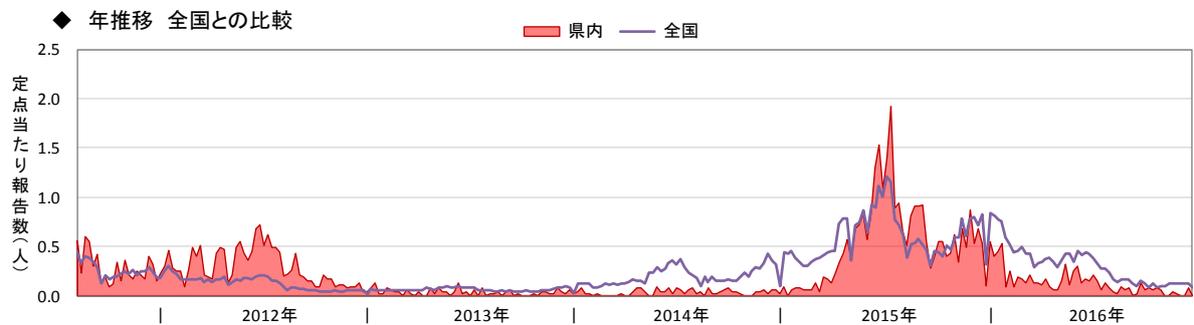
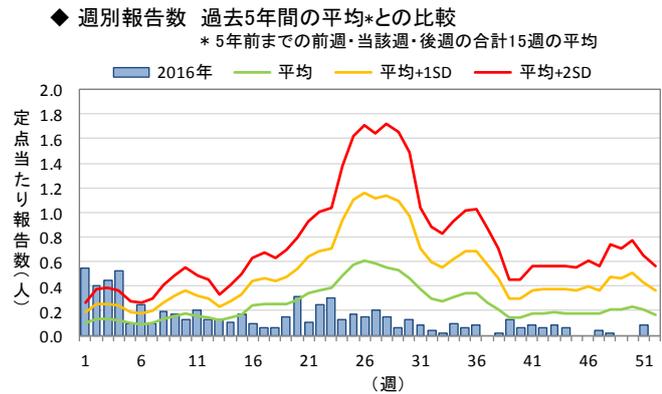
◆ 2016年累積(n=20)



g. 伝染性紅斑

患者情報

2016年の累積患者報告数は366人(定点当たり6.91人)で、前年(定点当たり28.47人)と比べて大きく減少した。前年の流行が2016年入ってから減少傾向ながら続き、夏ごろまで継続して患者が報告された。年齢階級別では、4歳(20.2%)、5歳(19.4%)の順に多く、幅広い年齢層の患者が報告された。保健所別では、岐阜市、岐阜保健所管内で報告が多かった。



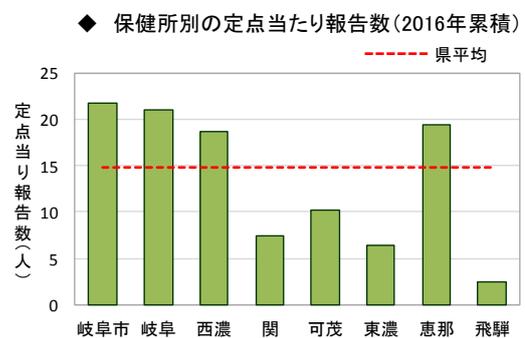
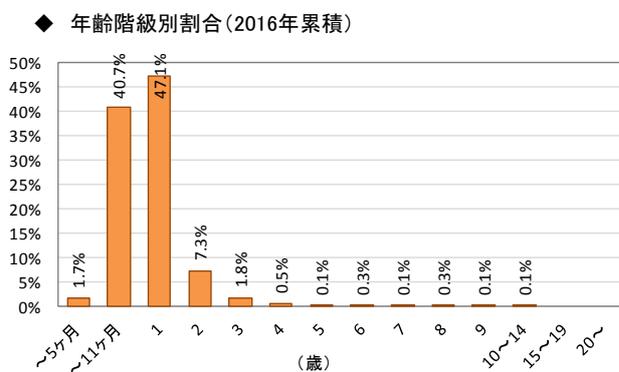
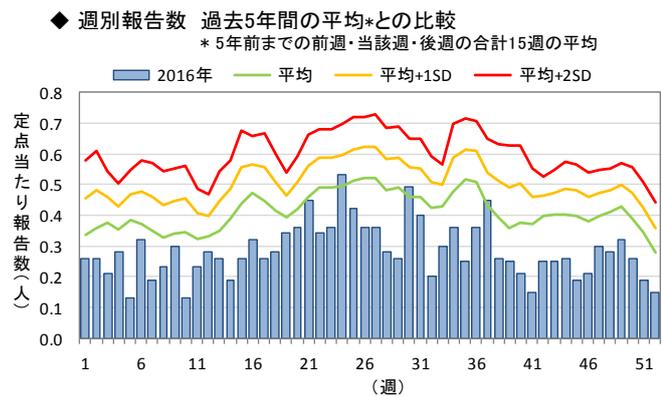
病原体情報

伝染性紅斑患者1症例の検体を検査した結果、パルボウイルス B19 が検出された。

h. 突発性発しん

患者情報

2016年の累積患者報告数は784人(定点当たり14.81人)で、前年(定点当たり19.00人)より減少した。年間を通じて過去5年間の平均より低いレベルで推移した。全国と比較しても、年間を通じて低いレベルで推移した。年齢階級別では、6ヵ月～1歳が全体の87.8%を占めた。



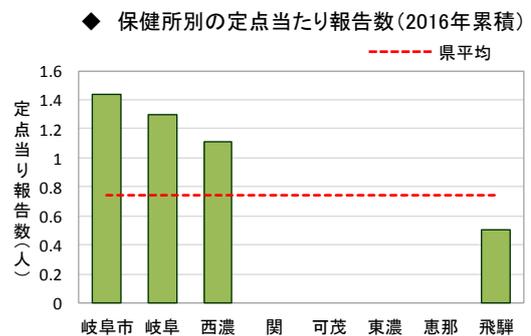
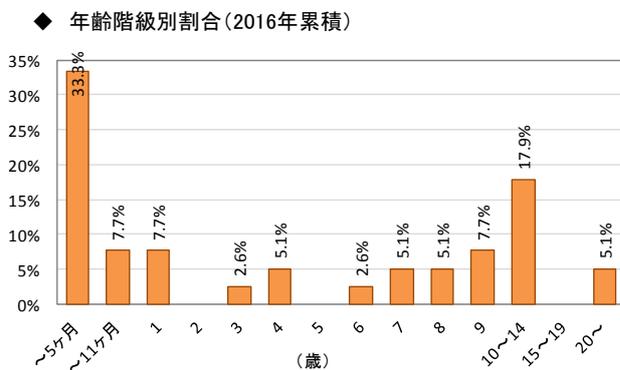
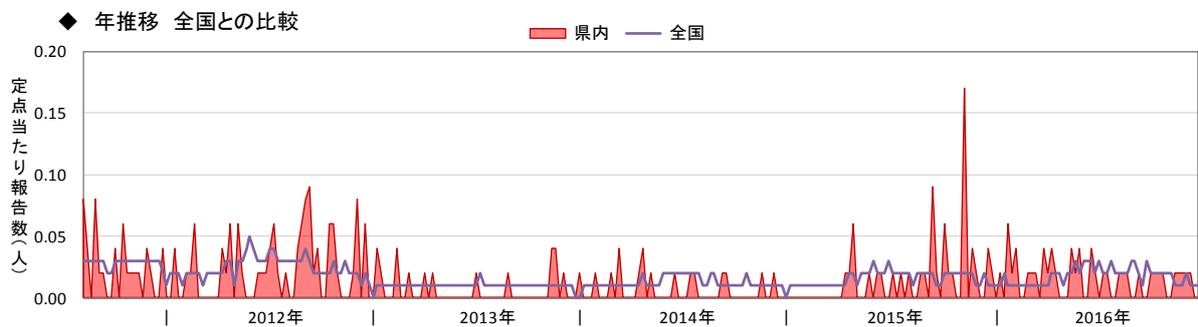
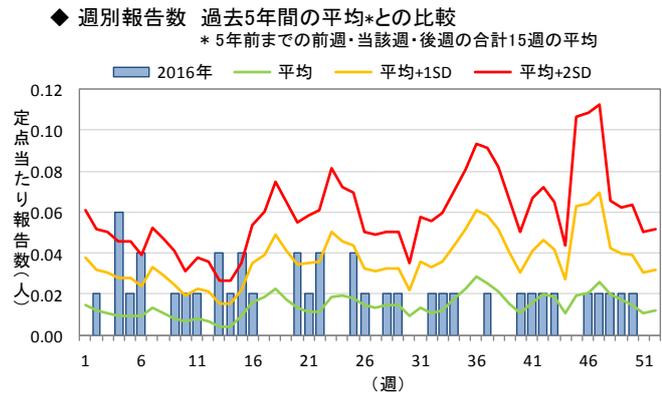
病原体情報

突発性発しん患者1症例の検体を検査した結果、ヒトヘルペスウイルス6型が検出された。

i. 百日咳

患者情報

2016年の累積患者報告数は39人（定点当たり0.74人）で、前年（定点当たり0.74人）と同程度であった。年間を通じて散発的な患者報告があった。年齢階級別では、0歳から成人まで幅広い年齢層の患者が報告されたが、6ヵ月未満の乳児が全体の33.3%と最も多かった。保健所別では、岐阜市、岐阜、西濃保健所管内の報告が多かった。



病原体情報

百日咳患者 8 症例の検体を検査した結果、4 例から百日咳菌が検出された。また、1 例からは *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

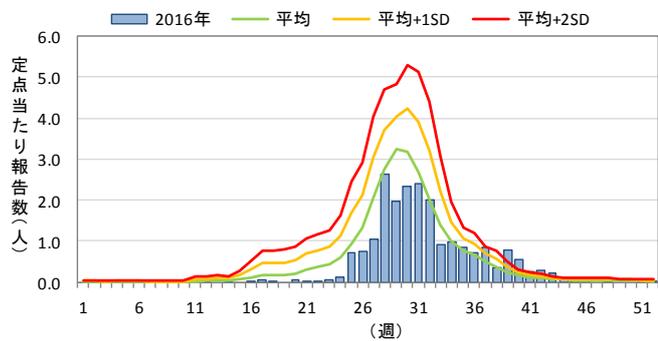
j. ヘルパンギーナ

患者情報

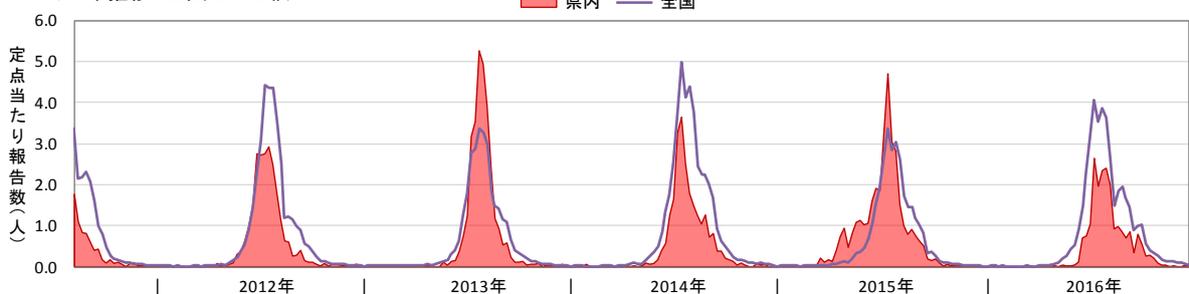
2016年の累積患者報告数は1,121人（定点当たり21.17人）で、前年（定点当たり34.64人）と比べて減少した。第25週（6/20～26）から患者報告数が増加し始め、第28～32週（7/11～8/14）に高いレベルで推移した。シーズン最高値は第28週（7/11～17）の定点当たり2.64人で、直近5年では最も低かった。全国では前年より大きな流行がみられた。年齢階級別では、1歳が最も多く全体の26.3%を占めた。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

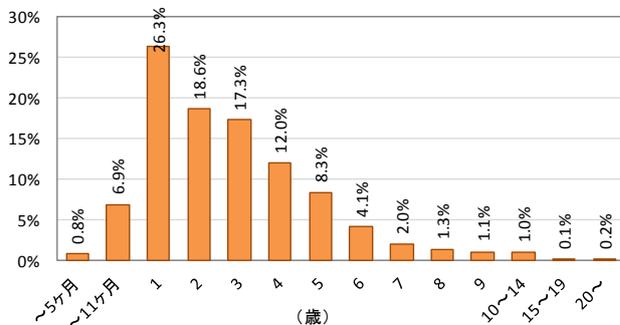
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



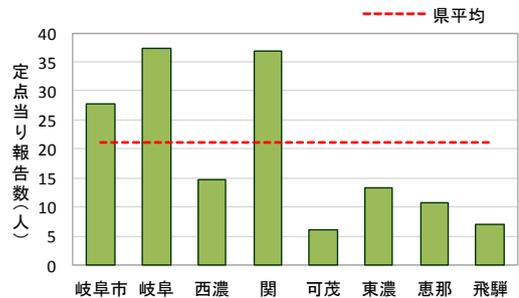
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



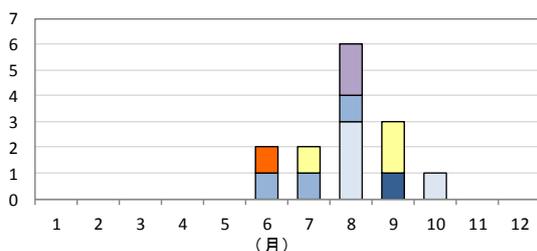
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



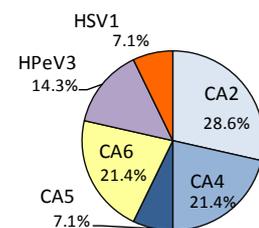
病原体情報

ヘルパンギーナ患者16症例の検体を検査した結果、14例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA2型が4例、同A4型および同A6型が各3例、ヒトパレコウイルス3型が2例、コクサッキーウイルスA5型および単純ヘルペスウイルス1型が各1例であった。

◆ 月別検出状況



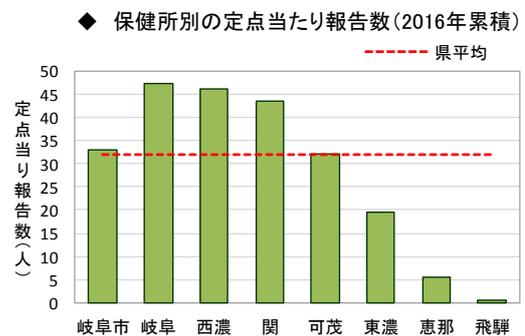
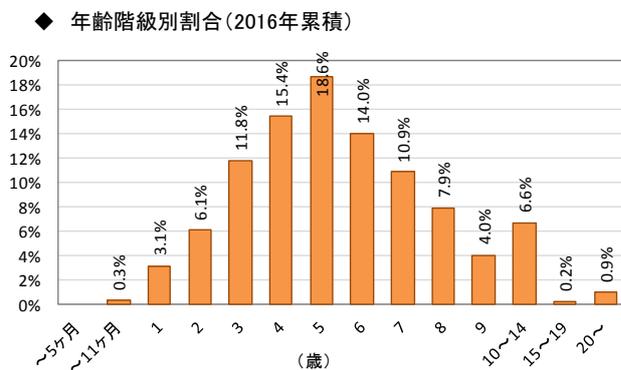
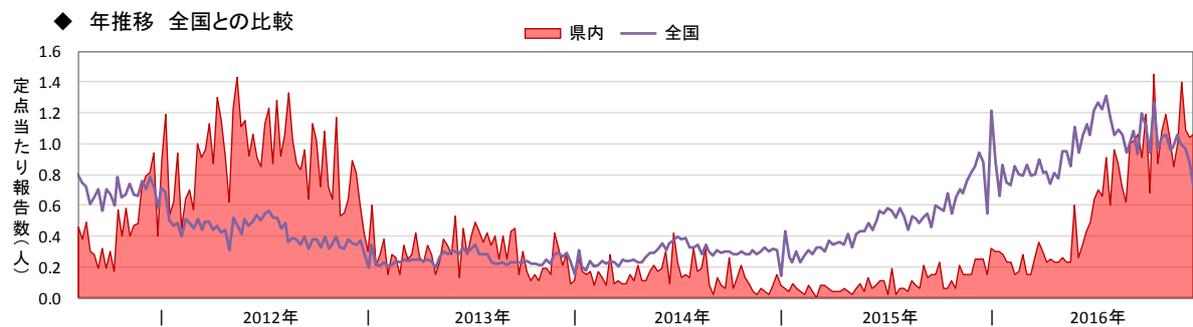
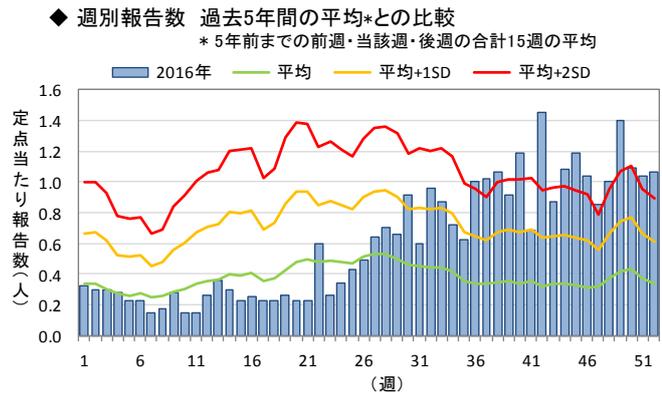
◆ 2016年累積 (n=14)



k. 流行性耳下腺炎

患者情報

2016年の累積患者報告数は1,685人（定点当たり31.83人）で、前年（定点当たり4.93人）と比べて大きく増加した。前年末から増加傾向がみられており、第22週（5/30～6/5）以降急増し、年末にかけて高いレベルで推移した。年齢階級別では、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。保健所別では岐阜、西濃、関保健所管内の報告が多かった。



病原体情報

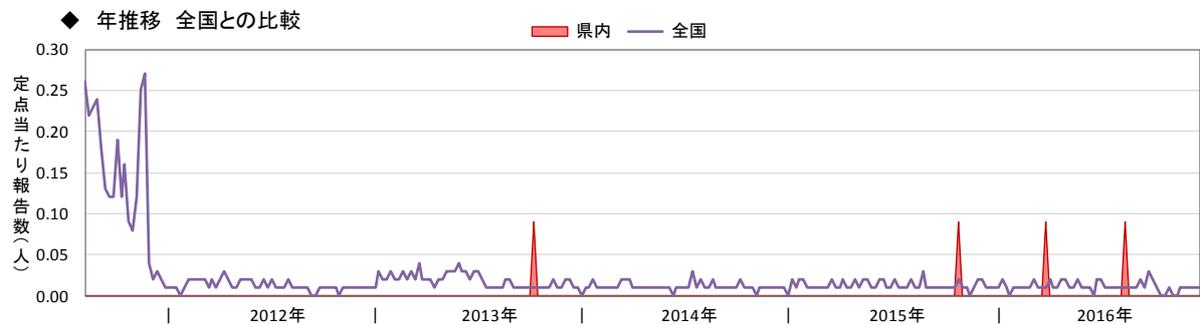
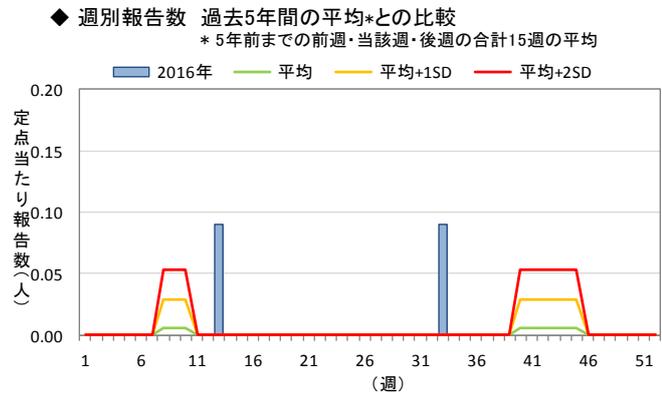
流行性耳下腺炎患者20症例の検体を検査した結果、15例からムンプスウイルスが検出された。

(3) 眼科定点

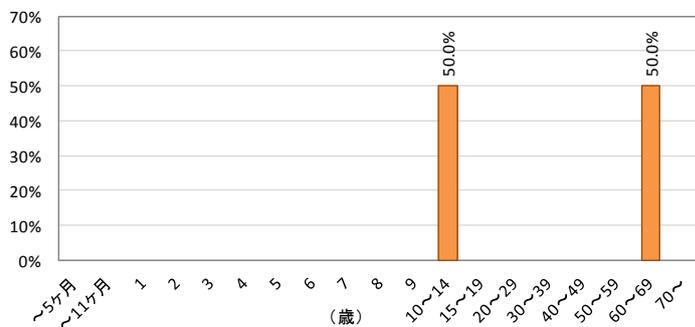
a. 急性出血性結膜炎

患者情報

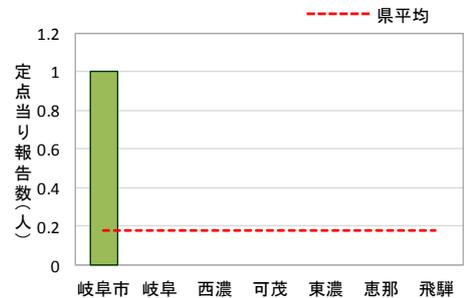
2016年の累積患者報告数は2人(定点当たり0.18人)であった。患者はともに岐阜市保健所管内の報告で、10歳代と60歳代であった。過去5年間では、2011年、2013年、2015年にそれぞれ1人報告があったのみで、流行はみられていない。全国では、2011年に流行がみられ、それ以降は低いレベルで推移している。



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



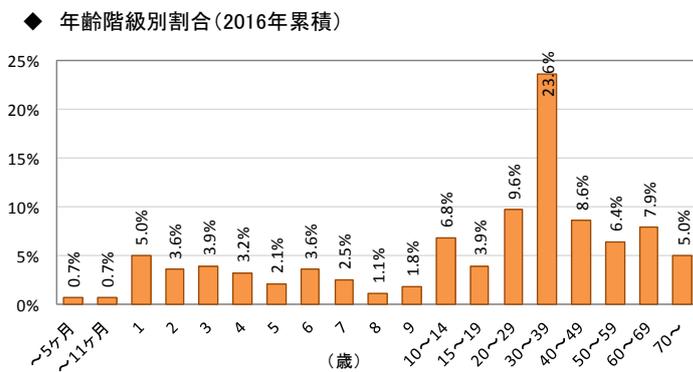
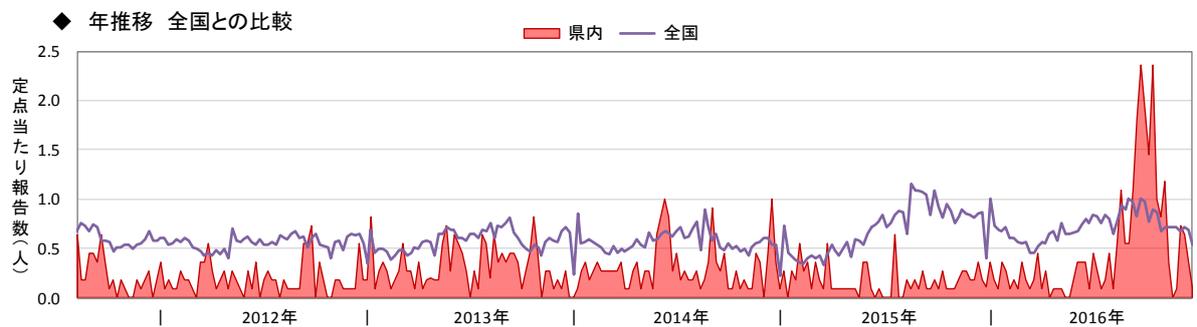
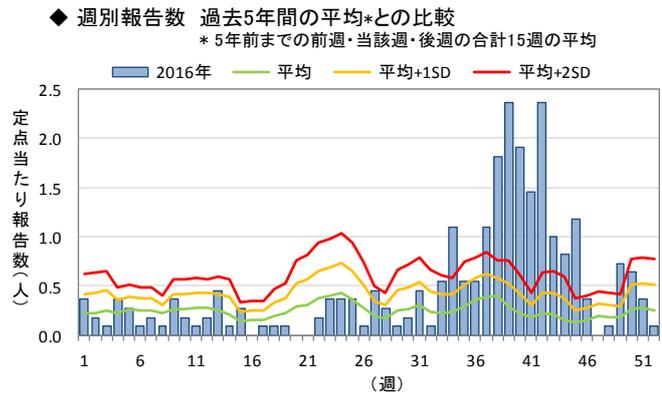
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



b. 流行性角結膜炎

患者情報

2016年の累積患者報告数は280人(定点当たり25.45人)で、前年(定点当たり9.03人)と比べて大きく増加した。第34～45週(8/22～11/13)に患者報告数の増加がみられ、過去5年間で最も大きな流行となった。年齢階級別では10歳未満の小児(28.2%)と30歳代(23.6%)が多く、保健所別では、可茂保健所管内の報告が多かった。



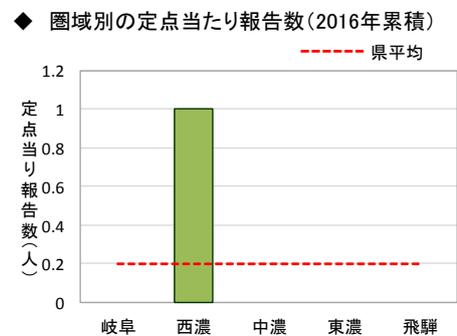
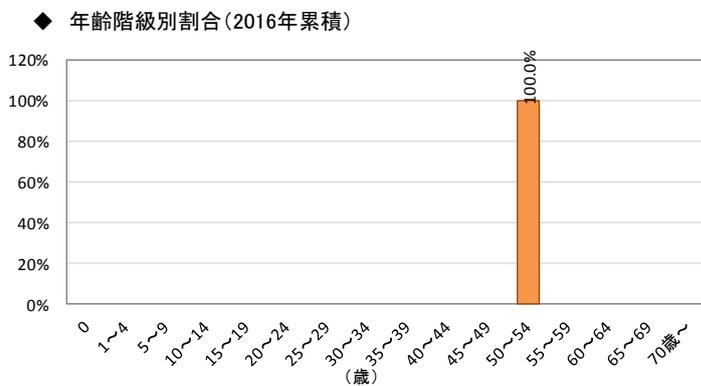
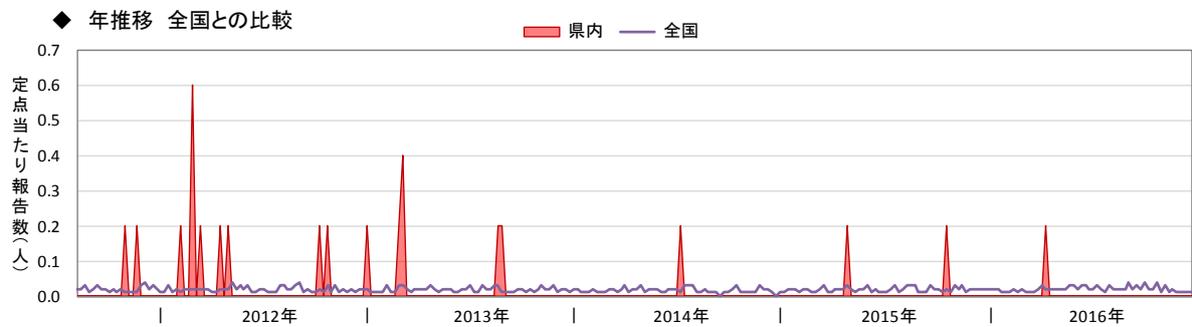
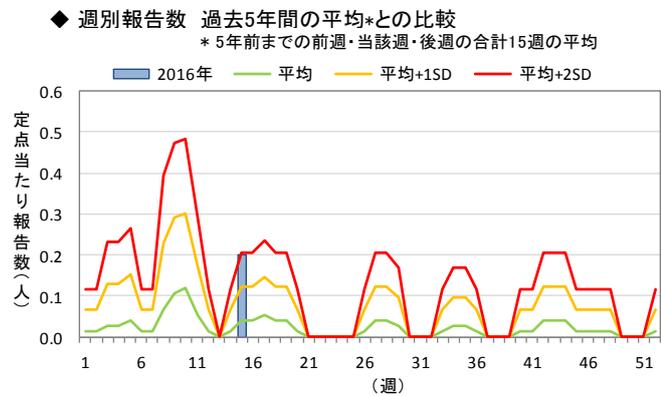
(4) 基幹定点

a. 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）

患者情報

2016年の累積患者報告数は1人（定点当たり0.20人）で、前年（定点当たり0.40人）と同程度であった。患者は西濃保健所管内の報告で、年齢階級は50～54歳であった。

2013年4月1日に髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因とする髄膜炎が全数把握対象の五類感染症に指定され本疾患の対象外となって以降、本疾患の患者報告数は減少した。



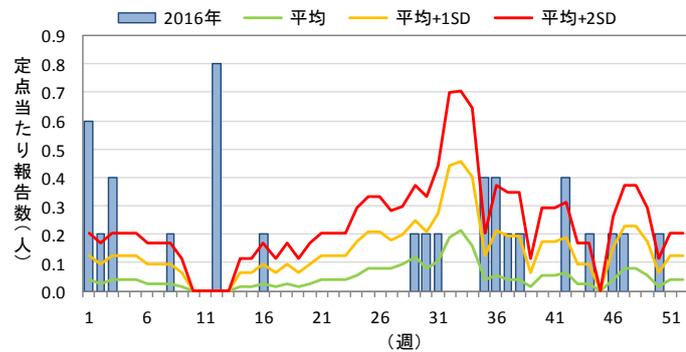
b. 無菌性髄膜炎

患者情報

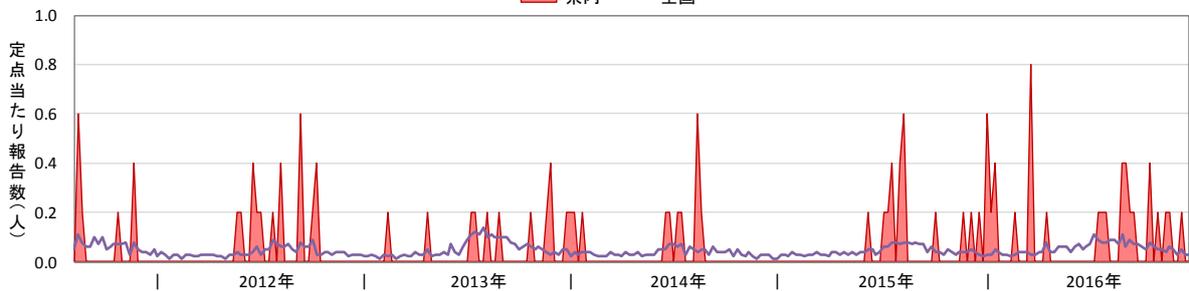
2016年の累積患者報告数は27人(定点当たり5.40人)で、前年(定点当たり2.80人)より増加した。年間を通じて散発的な患者報告があった。患者はすべて西濃保健所管内の報告で、年齢階級はすべて20歳未満で5~9歳が66.7%であった。

◆ 週別報告数 過去5年間の平均*との比較

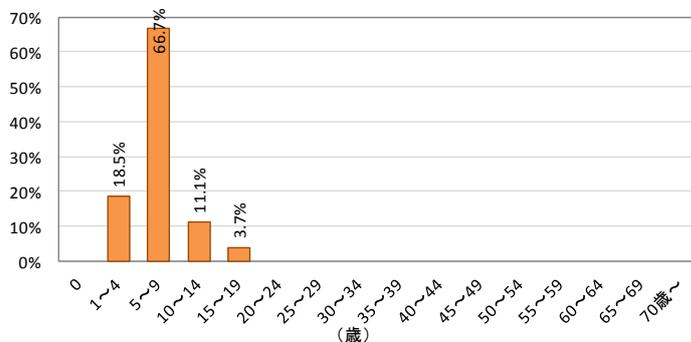
* 5年前までの前週・当該週・後週の合計15週の平均



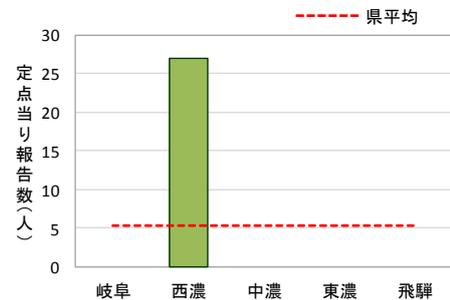
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



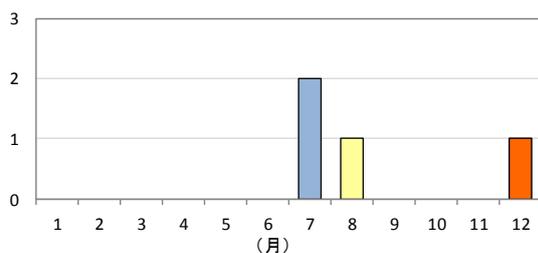
◆ 圏域別の定点当たり報告数(2016年累積)



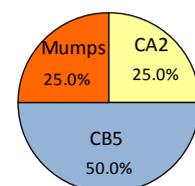
病原体情報

無菌性髄膜炎患者9症例の検体を検査した結果、4例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス B5 型が2例、コクサッキーウイルス A2 型およびムンプスウイルスが各1例であった。

◆ 月別検出状況



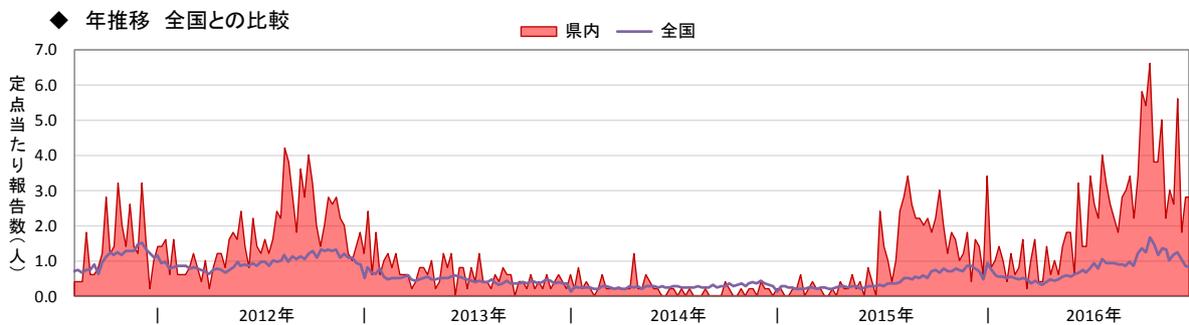
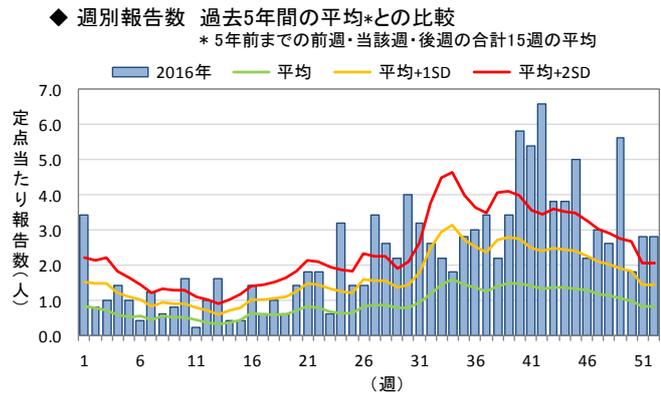
◆ 2016年累積 (n=4)



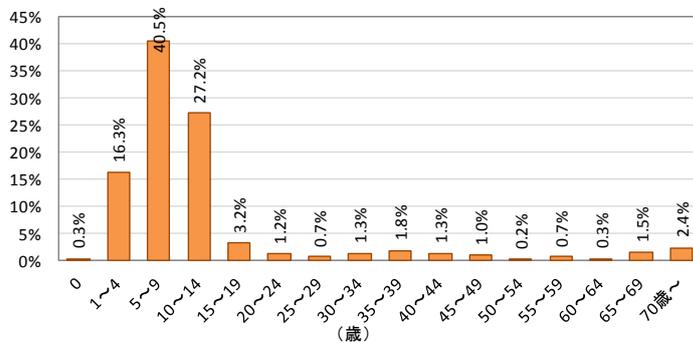
c. マイコプラズマ肺炎

患者情報

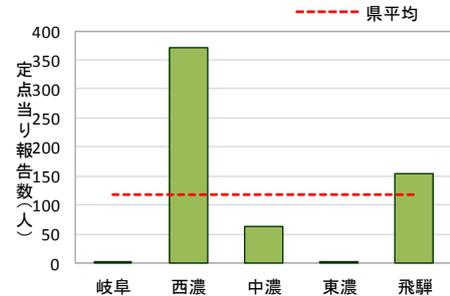
2016年の累積患者報告数は595人(定点当たり119.00人)で、前年(定点当たり53.40人)と比べて大きく増加した。前年後半から流行が続いており、2016年前半はやや減少したが、第21週(5/23~29)以降再び増加傾向となり、年末にかけて高いレベルで推移した。年齢階級別では1~14歳が多く、中でも5~9歳は全体の40.5%であった。圏域別では、西濃、飛騨圏域で報告が多かった。



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



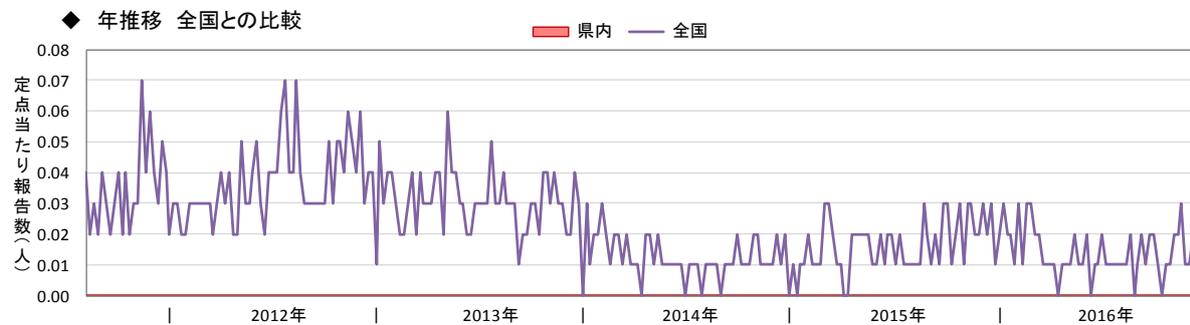
◆ 圏域別の定点当たり報告数(2016年累積)



d. クラミジア肺炎（オウム病を除く。）

患者情報

2016年、患者の報告はなかった。過去5年間、県内での患者の報告はなく、全国でも2014年以降低いレベルで推移している。

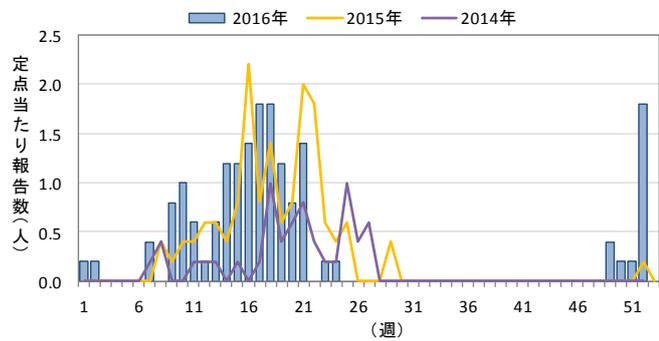


e. 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

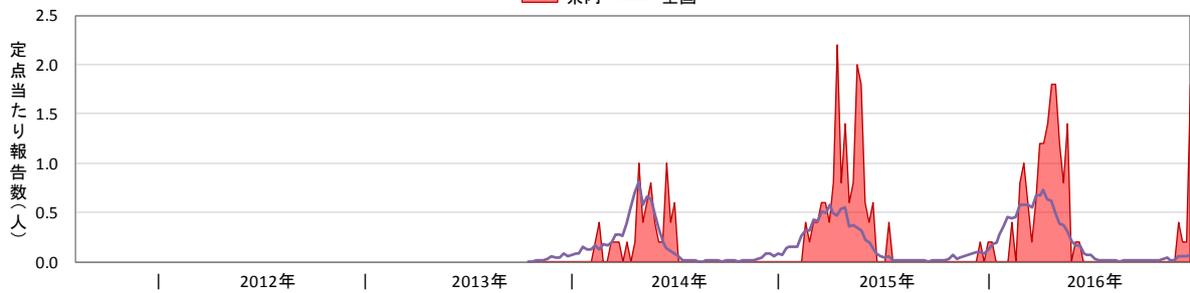
患者情報

2016年の累積患者報告数は89人（定点当たり17.80人）で、前年（定点当たり15.60人）と比べて増加した。第9～21週（2/29～5/29）は毎週患者が報告され、特に第14～21週（4/4～5/29）は高いレベルで推移した。第49～52週（12/5～1/1）も毎週患者の報告があった。年齢階級別では、1～4歳が多く、全体の80.9%を占めた。圏域別では、西濃圏域で報告が多かった。

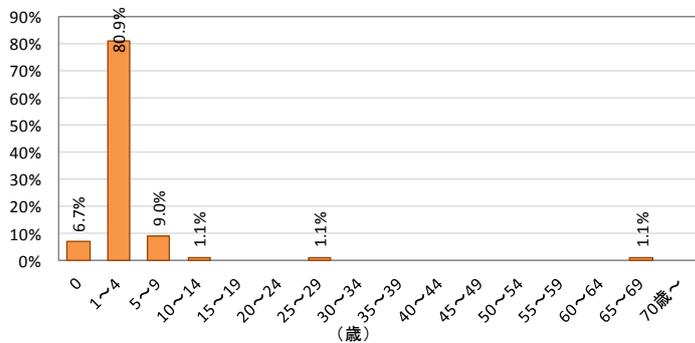
◆ 週別報告数 過去2年間との比較



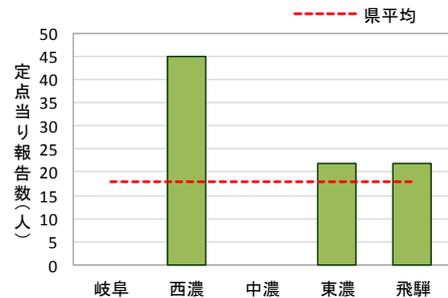
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



◆ 圏域別の定点当たり報告数(2016年累積)



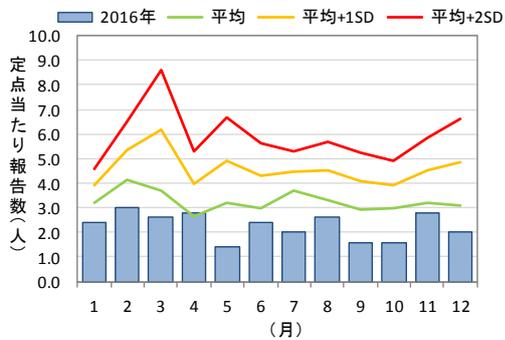
f. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

患者情報

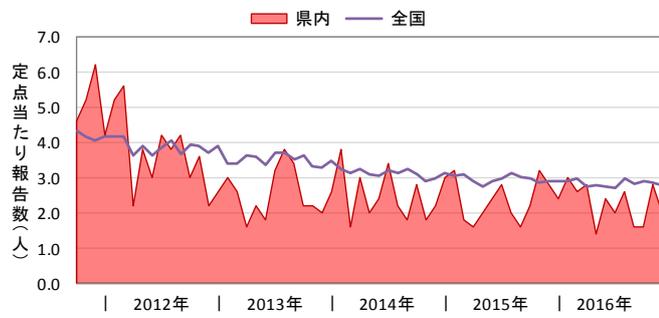
2016年の累積患者報告数は136人（定点当たり27.20人）で、前年（定点当たり28.60人）と同程度であった。年間を通じて過去5年の平均より低いレベルで推移した。年齢階級別では、高齢者が多く70歳以上が全体の68.4%を占めた。圏域別では、東濃、中濃圏域で報告が多かった。

◆ 月別報告数 過去5年間の平均*との比較

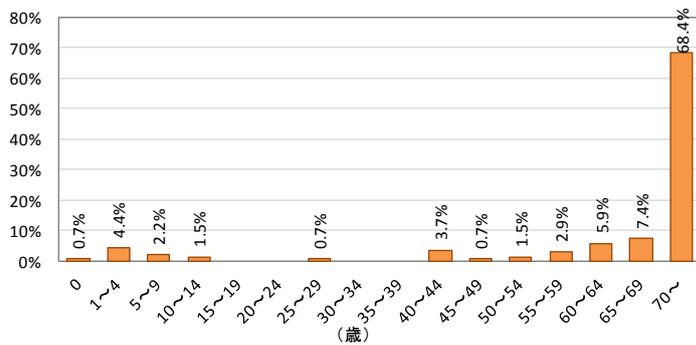
* 5年前までの当該月の合計5月の平均



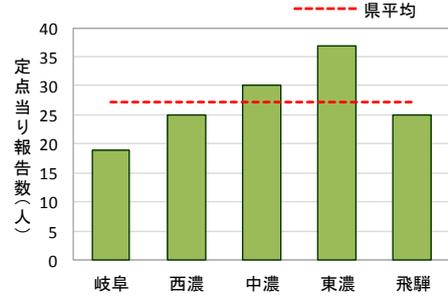
◆ 年推移 全国との比較



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



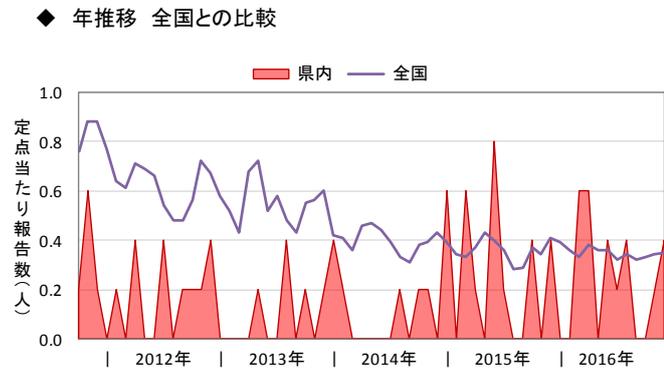
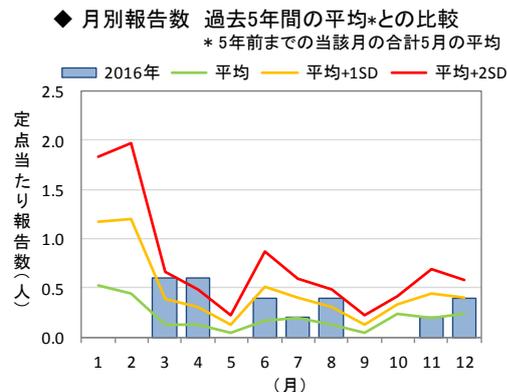
◆ 圏域別の定点当たり報告数(2016年累積)



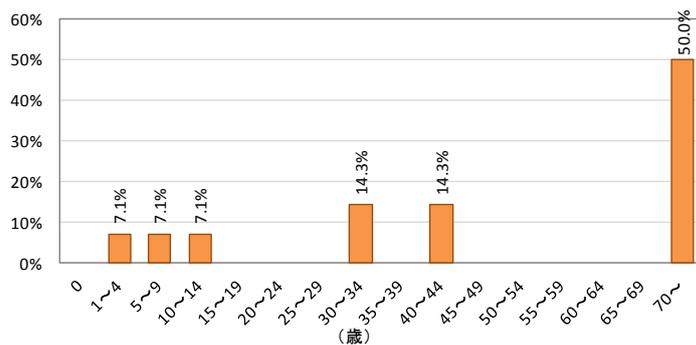
g. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

患者情報

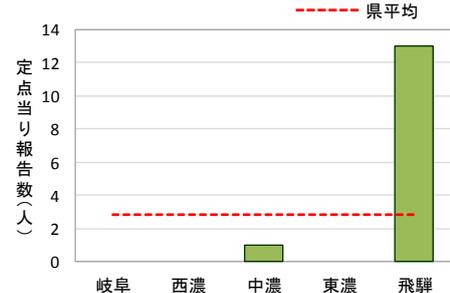
2016年の累積患者報告数は14人（定点当たり2.80人）で、前年（定点当たり3.20人）と同程度であった。年間を通じて散発的な患者報告があり、飛騨保健所からの報告が多かった。年齢階級別では、全体の半数は70歳以上の高齢者であったが、残り半数は幼児から成人まで様々であった。



◆ 年齢階級別割合(2016年累積)



◆ 圏域別の定点当たり報告数(2016年累積)

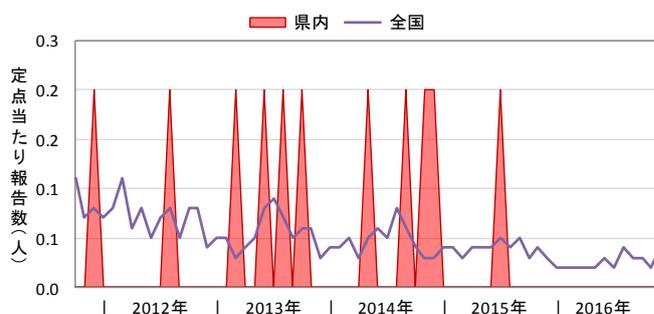


h. 薬剤耐性緑膿菌感染症

患者情報

2016年、患者の報告はなかった。過去5年間では、2011年2人、2012年1人、2013年4人、2014年4人、2015年1人の報告があった。

◆ 年推移 全国との比較

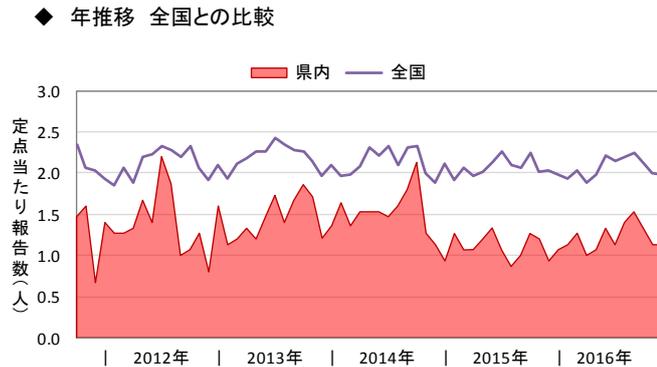
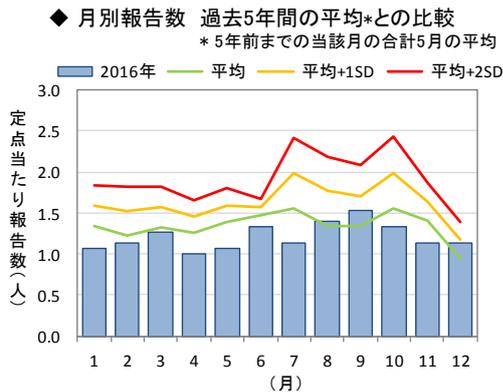


(5) 性感染症定点

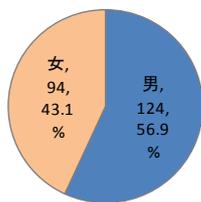
a. 性器クラミジア感染症

患者情報

2016年の累積患者報告数は218人（定点当たり14.53人）で、前年（定点当たり13.20人）と比べて増加した。年間を通じて、過去5年間の平均よりやや低く、全国と比較しても低いレベルで推移した。性・年齢階級別では、男女ともに20歳代が最も多かった。

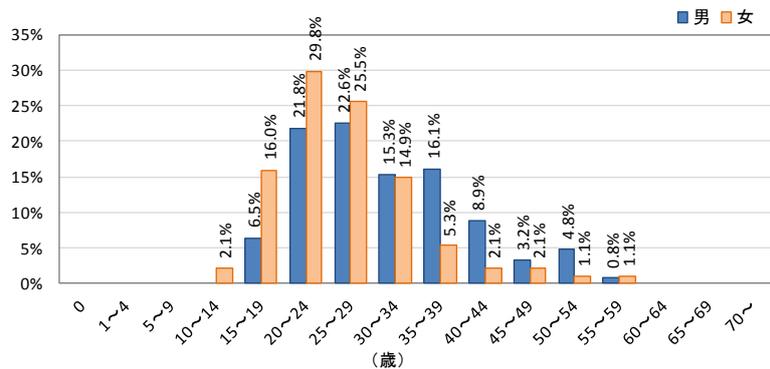


◆ 性別内訳

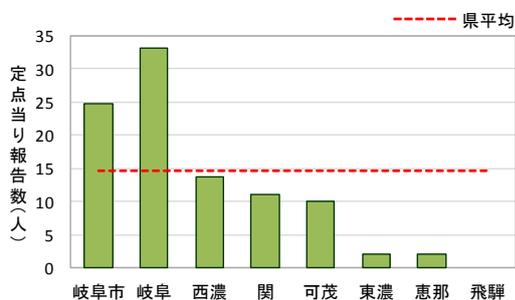


◆ 年齢階級別割合(2016年累積)

男性：男性全体に占める割合、女性：女性全体に占める割合



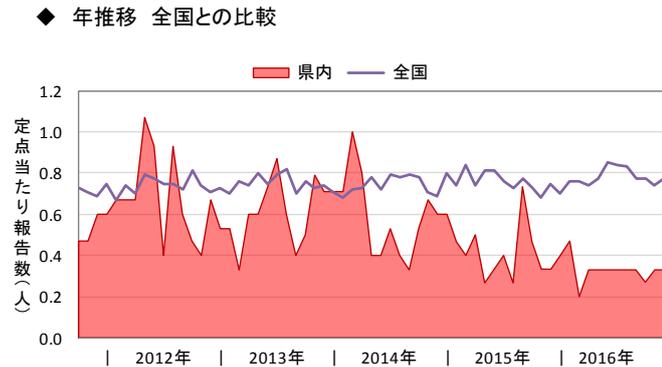
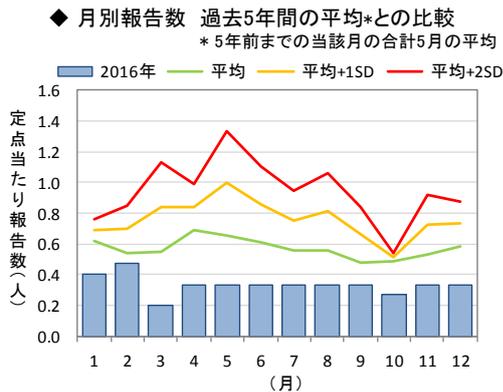
◆ 保健所別の定点当たり報告数(2016年累積)



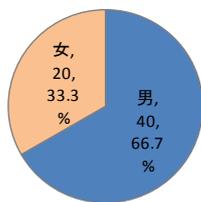
b. 性器ヘルペスウイルス感染症

患者情報

2016年の累積患者報告数は60人（定点当たり4.00人）で、前年（定点当たり5.09人）と比べて減少した。過去5年の平均および全国と比較して低いレベルで推移した。性・年齢階級別では、男性では10歳代後半～30歳代に集中していたのに対し、女性では10歳代後半～60歳代まで分散していた。

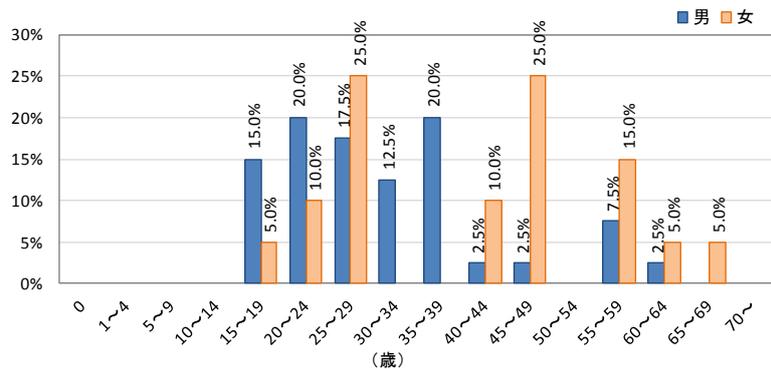


◆ 性別内訳



◆ 年齢階級別割合 (2016年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



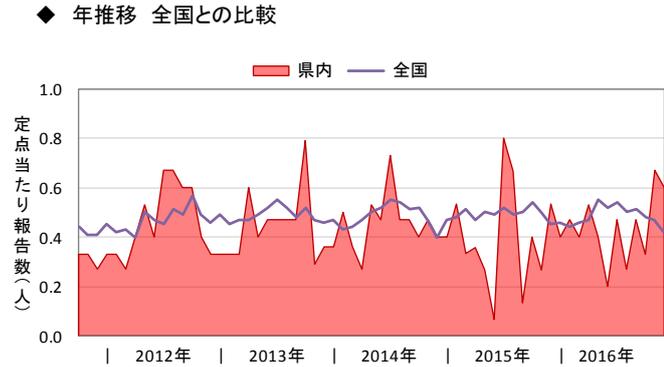
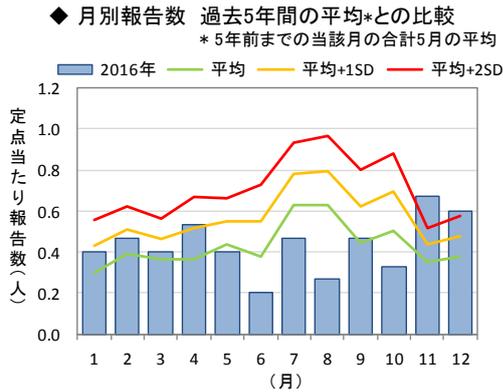
◆ 保健所別の定点当たり報告数 (2016年累積)



c. 尖圭コンジローマ

患者情報

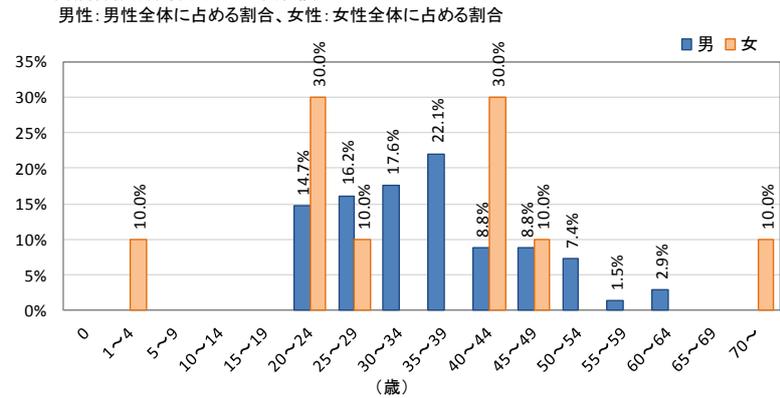
2016年の累積患者報告数は78人（定点当たり5.20人）で、前年（定点当たり4.76人）と同程度であった。月により患者報告数は変動し、11～12月の報告数が多かった。報告患者の87.2%が男性であった。年齢階級別では、男性は20～30歳代が多く、女性は20歳代と40歳代が多かった。



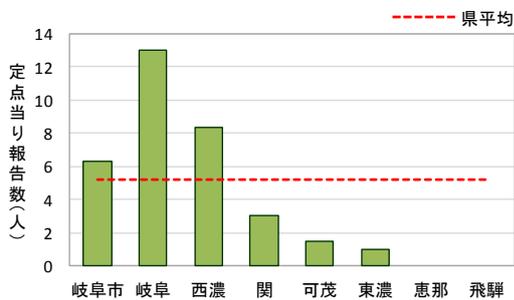
◆ 性別内訳



◆ 年齢階級別割合 (2016年累積)



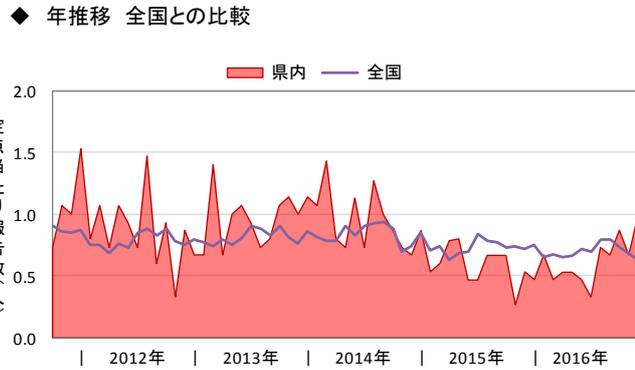
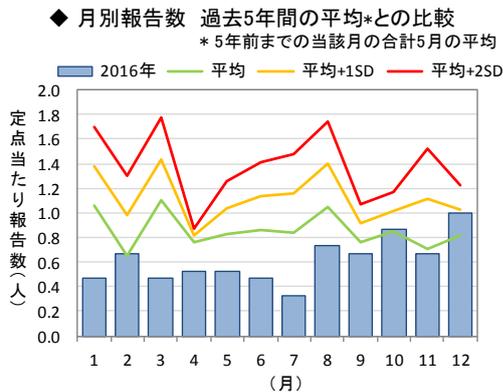
◆ 保健所別の定点当たり報告数 (2016年累積)



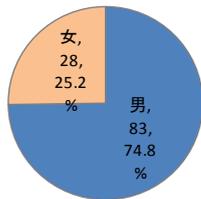
d. 淋菌感染症

患者情報

2016年の累積患者報告数は111人（定点当たり7.40人）で、前年（定点当たり7.31人）と同程度であった。1～9月は、過去5年間の平均より低いレベルで推移したが、10～12月は患者報告数が増加した。報告患者の74.8%が男性であった。年齢階級別では、男女ともに20歳代、30歳代の順に多かった。

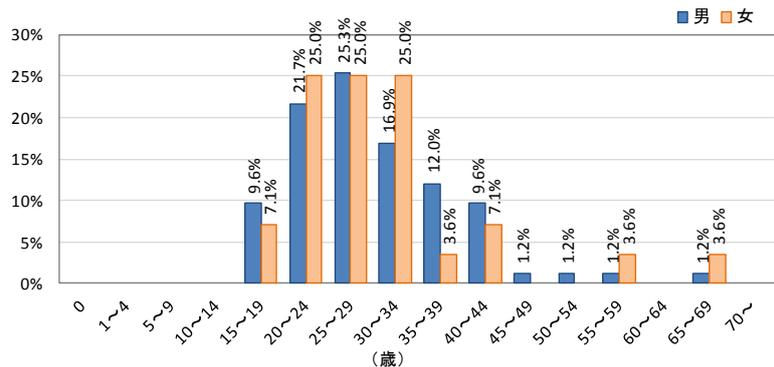


◆ 性別内訳

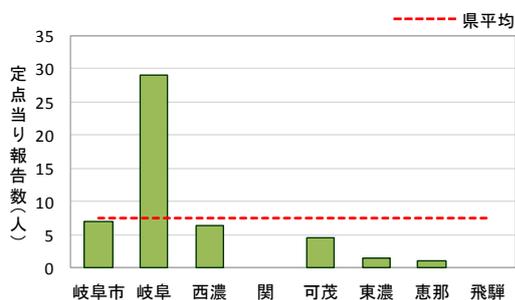


◆ 年齢階級別割合 (2016年累積)

男性: 男性全体に占める割合、女性: 女性全体に占める割合



◆ 保健所別の定点当たり報告数 (2016年累積)



- 3 感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症
2016 年、疑似症の報告はなかった。

集計表

表 1	全数把握対象感染症	年別患者報告数
表 2	〃	性・年齢階級別患者報告数
表 3	〃	保健所別患者報告数
表 4	定点把握対象感染症	週/月別患者報告数・定点当たり報告数
表 5	〃	年齢階級別患者報告数
表 6	〃	保健所別患者報告数
表 7	病原体検出状況	

表1 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ベスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	485	455	432	421	475
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	-
3類	コレラ	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	1	3	3	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	64	57	37	27	50
	腸チフス	1	-	-	1	1
	パラチフス	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	3	-	3
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	1	3	2	-	1
	エキノкокクス症	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	1	-	1	-	-
	つつが虫病	16	14	9	16	27
	デング熱	-	4	7	6	3
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	-	1
	マラリア	-	-	1	1	1
	野兔病	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
類鼻疽	-	1	-	-	-	
レジオネラ症	15	14	21	26	38	
レプトスピラ症	-	-	-	-	-	
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	

表1(続き) 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
5類	アメーバ赤痢	22	13	17	16	14
	ウイルス性肝炎	1	-	-	3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	/	/	-	8	9
	急性脳炎	2	2	1	-	-
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	6	1	5	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	4	3	6
	後天性免疫不全症候群	14	16	21	23	26
	ジアルジア症	-	2	1	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	/	2	5	5	3
	侵襲性髄膜炎菌感染症	/	-	-	3	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	/	25	27	43	47
	水痘(入院例に限る)	/	/	4	7	6
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	3	7	11	18	33
	播種性クリプトコックス症	-	4	4
	破傷風	5	-	1	1	-
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	-	1	-	1
	風しん	10	31	2	1	3
麻しん	6	-	3	1	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	/	/	-	-	-	

表2 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2016年- (報告のあった疾患)
(男女計)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~	
2類	結核	475	6	2	3	2	8	37	30	28	38	41	89	137	55	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	50	1	2	7	2	5	8	10	3	1	4	5	2		
	腸チフス	1							1							
4類	E型肝炎	3								1	1	1				
	A型肝炎	1								1						
	つつが虫病	27							2	1	1	7	7	8	1	
	デング熱	3							1		1	1				
	ボツリヌス症	1	1													
	マラリア	1									1					
5類	レジオネラ症	38					1		1	3	9	11	10	3		
	アメーバ赤痢	14								5	4	1	3		1	
	ウイルス性肝炎	1							1							
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9									1	1	5	2		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2										1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1									2		2	1	
	後天性免疫不全症候群	26						5	13	7		1				
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3			1									1	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3											2		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	47	1	4						2		3	12	12	8	5
	水痘(入院例)	6						1	1	1	2		1			
	梅毒	33						1	14	8	8		1	1		
	播種性クリプトコックス症	4												2	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1														1
	風しん	3								1	1		1			

表2(続き) 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2016年- (報告のあった疾患)
(男性)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	237	4	1	1	1	4	18	9	12	17	25	51	73	21
3類	腸管出血性大腸菌感染症	25		2	6	1	1	4	4	2		2	3		
	腸チフス														
4類	E型肝炎	1										1			
	A型肝炎	1								1					
	つつが虫病	14							1	1	1	4	4	3	
	デング熱	2							1		1				
	ボツリヌス症														
	マラリア	1									1				
5類	レジオネラ症	32							1	3	7	11	9	1	
	アメーバ赤痢	10								3	3	1	3		
	ウイルス性肝炎	1						1							
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8									1	1	4	2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病														
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1												1
	後天性免疫不全症候群	24						5	11	7		1			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2												1	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2										2			
	侵襲性肺炎球菌感染症	32	1	4					1		2	8	9	5	2
	水痘(入院例)	4					1	1		2					
	梅毒	20						7	5	6		1	1		
	播種性クリプトコックス症	2											1	1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
風しん	3								1	1		1			

(女性)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	238	2	1	2	1	4	19	21	16	21	16	38	64	33
3類	腸管出血性大腸菌感染症	25	1		1	1	4	4	6	1	1	2	2	2	
	腸チフス	1							1						
4類	E型肝炎	2								1	1				
	A型肝炎														
	つつが虫病	13							1			3	3	5	1
	デング熱	1										1			
	ボツリヌス症	1	1												
	マラリア														
5類	レジオネラ症	6									2		1	2	
	アメーバ赤痢	4								2	1				1
	ウイルス性肝炎														
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1											1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2										1	1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4										2		1	1
	後天性免疫不全症候群	2							2						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1										
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1													
	侵襲性肺炎球菌感染症	15							1		1	4	3	3	3
	水痘(入院例)	2								1		1			
	梅毒	13						1	7	3	2				
	播種性クリプトコックス症	2											1		1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1													1
風しん															

表3 全数把握対象感染症 保健所別患者報告数 -2016年- (報告のあった疾患)

類型	疾患名	総数	岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
2類	結核	475	85	116	75	32	53	63	16	35
3類	腸管出血性大腸菌感染症	50	6	2	3		6	5	2	26
	腸チフス	1	1							
4類	E型肝炎	3	1				2			
	A型肝炎	1	1							
	つつが虫病	27	4	1	5	7	3			7
	デング熱	3	1				1			1
	ポツリヌス症	1	1							
	マラリア	1		1						
	レジオネラ症	38	6	5	3	7	4	4	3	6
5類	アメーバ赤痢	14	5	1	2		2	3		1
	ウイルス性肝炎	1			1					
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9	3	2	2	1	1			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	2							
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	3	1		1	1			
	後天性免疫不全症候群	26	21	1	3	1				
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2		1					
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3	1		1			1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	47	20	6	7	4	4	6		
	水痘(入院例)	6	4	2						
	梅毒	33	20	3	4			3	2	1
	播種性クリプトкокクス症	4	1	1	1			1		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		1						
風しん	3		1			2				

表4-1 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (インフルエンザ定点・小児科定点)

インフルエンザ定点					小児科定点									
週	期間	インフルエンザ			定点数	RSウイルス感染症			咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
		報告数	定点当	定点数		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/4~1/10	87	185	2.13	53	46	0.87	31	0.58	63	1.19	306	5.77	
2	1/11~1/17	87	488	5.61	53	35	0.66	13	0.25	60	1.13	304	5.74	
3	1/18~1/24	87	1,062	12.21	53	21	0.40	22	0.42	95	1.79	252	4.75	
4	1/25~1/31	87	2,115	24.31	53	28	0.53	23	0.43	84	1.58	236	4.45	
5	2/1~2/7	87	2,947	33.87	53	10	0.19	14	0.26	128	2.42	241	4.55	
6	2/8~2/14	87	4,077	46.86	53	9	0.17	15	0.28	86	1.62	223	4.21	
7	2/15~2/21	87	3,600	41.38	53	5	0.09	12	0.23	86	1.62	179	3.38	
8	2/22~2/28	87	4,085	46.95	53	4	0.08	10	0.19	71	1.34	205	3.87	
9	2/29~3/6	87	3,686	42.37	53	11	0.21	9	0.17	77	1.45	193	3.64	
10	3/7~3/13	87	2,729	31.37	53	9	0.17	13	0.25	64	1.21	189	3.57	
11	3/14~3/20	87	1,922	22.09	53	10	0.19	10	0.19	67	1.26	191	3.60	
12	3/21~3/27	87	1,464	16.83	53	5	0.09	6	0.11	56	1.06	158	2.98	
13	3/28~4/3	87	1,114	12.80	53	4	0.08	8	0.15	68	1.28	167	3.15	
14	4/4~4/10	87	651	7.48	53	5	0.09	11	0.21	55	1.04	179	3.38	
15	4/11~4/17	87	421	4.84	53	3	0.06	8	0.15	78	1.47	204	3.85	
16	4/18~4/24	87	271	3.11	53	1	0.02	12	0.23	75	1.42	259	4.89	
17	4/25~5/1	87	156	1.79	53	3	0.06	12	0.23	64	1.21	250	4.72	
18	5/2~5/8	87	96	1.10	53	1	0.02	16	0.30	40	0.75	173	3.26	
19	5/9~5/15	87	32	0.37	53	1	0.02	13	0.25	61	1.15	198	3.74	
20	5/16~5/22	87	14	0.16	53	-	-	12	0.23	72	1.36	202	3.81	
21	5/23~5/29	87	7	0.08	53	2	0.04	12	0.23	107	2.02	190	3.58	
22	5/30~6/5	87	2	0.02	53	-	-	18	0.34	86	1.62	157	2.96	
23	6/6~6/12	87	1	0.01	53	1	0.02	11	0.21	109	2.06	152	2.87	
24	6/13~6/19	87	-	-	53	-	-	12	0.23	83	1.57	184	3.47	
25	6/20~6/26	87	1	0.01	53	-	-	24	0.45	80	1.51	159	3.00	
26	6/27~7/3	87	-	-	53	-	-	19	0.36	71	1.34	161	3.04	
27	7/4~7/10	87	-	-	53	3	0.06	15	0.28	56	1.06	107	2.02	
28	7/11~7/17	87	1	0.01	53	-	-	15	0.28	63	1.19	139	2.62	
29	7/18~7/24	87	-	-	53	-	-	15	0.28	47	0.89	122	2.30	
30	7/25~7/31	87	2	0.02	53	1	0.02	16	0.30	62	1.17	119	2.25	
31	8/1~8/7	87	1	0.01	53	1	0.02	13	0.25	51	0.96	98	1.85	
32	8/8~8/14	85	1	0.01	51	3	0.06	8	0.16	48	0.94	90	1.76	
33	8/15~8/21	87	-	-	53	5	0.09	25	0.47	37	0.70	113	2.13	
34	8/22~8/28	87	2	0.02	53	8	0.15	17	0.32	54	1.02	96	1.81	
35	8/29~9/4	87	2	0.02	53	9	0.17	12	0.23	38	0.72	108	2.04	
36	9/5~9/11	87	-	-	53	22	0.42	12	0.23	36	0.68	119	2.25	
37	9/12~9/18	87	5	0.06	53	24	0.45	6	0.11	41	0.77	124	2.34	
38	9/19~9/25	87	12	0.14	53	23	0.43	12	0.23	32	0.60	97	1.83	
39	9/26~10/2	87	5	0.06	53	28	0.53	13	0.25	38	0.72	114	2.15	
40	10/3~10/9	87	13	0.15	53	48	0.91	12	0.23	25	0.47	133	2.51	
41	10/10~10/16	87	21	0.24	53	85	1.60	14	0.26	23	0.43	93	1.75	
42	10/17~10/23	87	17	0.20	53	68	1.28	17	0.32	36	0.68	106	2.00	
43	10/24~10/30	87	24	0.28	52	67	1.29	8	0.15	45	0.87	84	1.62	
44	10/31~11/6	87	38	0.44	53	62	1.17	5	0.09	46	0.87	147	2.77	
45	11/7~11/13	87	58	0.67	53	40	0.75	16	0.30	44	0.83	206	3.89	
46	11/14~11/20	87	88	1.01	53	65	1.23	8	0.15	44	0.83	295	5.57	
47	11/21~11/27	87	152	1.75	53	68	1.28	22	0.42	50	0.94	339	6.40	
48	11/28~12/4	87	121	1.39	53	44	0.83	18	0.34	46	0.87	440	8.30	
49	12/5~12/11	87	260	2.99	53	58	1.09	26	0.49	45	0.85	574	10.83	
50	12/12~12/18	87	426	4.90	53	50	0.94	29	0.55	39	0.74	772	14.57	
51	12/19~12/25	87	848	9.75	53	38	0.72	28	0.53	48	0.91	741	13.98	
52	12/26~1/1	87	1,589	18.26	53	40	0.75	23	0.43	48	0.91	460	8.68	
	週平均	-	669.46	7.69	-	20.65	0.39	14.83	0.28	60.15	1.14	214.38	4.05	
	総数	-	34,812	400.31	-	1,074	20.29	771	14.56	3,128	59.08	11,148	210.57	

表4-2 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (小児科定点)

小児科定点												
週	期間	定点数	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
			報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/4~1/10	53	29	0.55	5	0.09	29	0.55	14	0.26	-	-
2	1/11~1/17	53	15	0.28	6	0.11	21	0.40	14	0.26	1	0.02
3	1/18~1/24	53	10	0.19	2	0.04	24	0.45	11	0.21	-	-
4	1/25~1/31	53	9	0.17	4	0.08	28	0.53	15	0.28	3	0.06
5	2/1~2/7	53	9	0.17	7	0.13	5	0.09	7	0.13	1	0.02
6	2/8~2/14	53	7	0.13	2	0.04	13	0.25	17	0.32	2	0.04
7	2/15~2/21	53	10	0.19	-	-	5	0.09	10	0.19	-	-
8	2/22~2/28	53	4	0.08	-	-	10	0.19	12	0.23	-	-
9	2/29~3/6	53	5	0.09	-	-	9	0.17	16	0.30	1	0.02
10	3/7~3/13	53	6	0.11	-	-	7	0.13	7	0.13	1	0.02
11	3/14~3/20	53	8	0.15	1	0.02	11	0.21	12	0.23	1	0.02
12	3/21~3/27	53	3	0.06	-	-	7	0.13	15	0.28	-	-
13	3/28~4/3	53	4	0.08	-	-	7	0.13	14	0.26	2	0.04
14	4/4~4/10	53	20	0.38	-	-	6	0.11	10	0.19	1	0.02
15	4/11~4/17	53	10	0.19	-	-	9	0.17	14	0.26	2	0.04
16	4/18~4/24	53	6	0.11	-	-	5	0.09	17	0.32	1	0.02
17	4/25~5/1	53	7	0.13	4	0.08	3	0.06	14	0.26	-	-
18	5/2~5/8	53	10	0.19	2	0.04	3	0.06	15	0.28	-	-
19	5/9~5/15	53	15	0.28	9	0.17	8	0.15	18	0.34	-	-
20	5/16~5/22	53	7	0.13	4	0.08	17	0.32	19	0.36	2	0.04
21	5/23~5/29	53	12	0.23	4	0.08	6	0.11	24	0.45	1	0.02
22	5/30~6/5	53	7	0.13	3	0.06	13	0.25	18	0.34	2	0.04
23	6/6~6/12	53	4	0.08	9	0.17	16	0.30	19	0.36	-	-
24	6/13~6/19	53	14	0.26	11	0.21	7	0.13	28	0.53	-	-
25	6/20~6/26	53	4	0.08	20	0.38	9	0.17	22	0.42	2	0.04
26	6/27~7/3	53	15	0.28	27	0.51	8	0.15	19	0.36	1	0.02
27	7/4~7/10	53	11	0.21	31	0.58	11	0.21	19	0.36	-	-
28	7/11~7/17	53	15	0.28	62	1.17	8	0.15	15	0.28	1	0.02
29	7/18~7/24	53	7	0.13	36	0.68	3	0.06	14	0.26	1	0.02
30	7/25~7/31	53	8	0.15	35	0.66	7	0.13	26	0.49	-	-
31	8/1~8/7	53	7	0.13	35	0.66	4	0.08	21	0.40	-	-
32	8/8~8/14	51	12	0.24	23	0.45	2	0.04	10	0.20	1	0.02
33	8/15~8/21	53	10	0.19	28	0.53	1	0.02	16	0.30	1	0.02
34	8/22~8/28	53	6	0.11	27	0.51	5	0.09	19	0.36	1	0.02
35	8/29~9/4	53	19	0.36	39	0.74	3	0.06	13	0.25	-	-
36	9/5~9/11	53	11	0.21	28	0.53	4	0.08	19	0.36	-	-
37	9/12~9/18	53	22	0.42	42	0.79	-	-	24	0.45	1	0.02
38	9/19~9/25	53	16	0.30	50	0.94	1	0.02	14	0.26	-	-
39	9/26~10/2	53	10	0.19	58	1.09	7	0.13	13	0.25	-	-
40	10/3~10/9	53	14	0.26	66	1.25	3	0.06	11	0.21	1	0.02
41	10/10~10/16	53	6	0.11	36	0.68	4	0.08	8	0.15	1	0.02
42	10/17~10/23	53	7	0.13	30	0.57	3	0.06	13	0.25	1	0.02
43	10/24~10/30	52	5	0.10	27	0.52	4	0.08	13	0.25	1	0.02
44	10/31~11/6	53	3	0.06	49	0.92	3	0.06	14	0.26	-	-
45	11/7~11/13	53	6	0.11	23	0.43	-	-	10	0.19	-	-
46	11/14~11/20	53	17	0.32	24	0.45	-	-	11	0.21	1	0.02
47	11/21~11/27	53	9	0.17	14	0.26	2	0.04	16	0.30	1	0.02
48	11/28~12/4	53	17	0.32	9	0.17	1	0.02	15	0.28	1	0.02
49	12/5~12/11	53	15	0.28	16	0.30	-	-	17	0.32	1	0.02
50	12/12~12/18	53	29	0.55	7	0.13	-	-	14	0.26	1	0.02
51	12/19~12/25	53	7	0.13	22	0.42	4	0.08	10	0.19	-	-
52	12/26~1/1	53	11	0.21	6	0.11	-	-	8	0.15	-	-
週平均		-	10.58	0.20	18.13	0.34	7.04	0.13	15.08	0.28	0.75	0.01
総数		-	550	10.39	943	17.81	366	6.91	784	14.81	39	0.74

表4-3 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (小児科定点・眼科定点)

小児科定点			ヘルパンギーナ				流行性 耳下腺炎		眼科定点			
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/4~1/10	53	-	-	17	0.32	11	-	-	4	0.36	
2	1/11~1/17	53	1	0.02	16	0.30	11	-	-	2	0.18	
3	1/18~1/24	53	1	0.02	16	0.30	11	-	-	1	0.09	
4	1/25~1/31	53	1	0.02	15	0.28	11	-	-	4	0.36	
5	2/1~2/7	53	-	-	12	0.23	11	-	-	3	0.27	
6	2/8~2/14	53	-	-	12	0.23	11	-	-	1	0.09	
7	2/15~2/21	53	-	-	8	0.15	11	-	-	2	0.18	
8	2/22~2/28	53	-	-	9	0.17	11	-	-	1	0.09	
9	2/29~3/6	53	-	-	15	0.28	11	-	-	4	0.36	
10	3/7~3/13	53	-	-	8	0.15	11	-	-	2	0.18	
11	3/14~3/20	53	-	-	8	0.15	11	-	-	1	0.09	
12	3/21~3/27	53	1	0.02	14	0.26	11	-	-	2	0.18	
13	3/28~4/3	53	-	-	19	0.36	11	1	0.09	5	0.45	
14	4/4~4/10	53	1	0.02	16	0.30	11	-	-	1	0.09	
15	4/11~4/17	53	-	-	12	0.23	11	-	-	3	0.27	
16	4/18~4/24	53	1	0.02	13	0.25	11	-	-	-	-	
17	4/25~5/1	53	3	0.06	12	0.23	11	-	-	1	0.09	
18	5/2~5/8	53	1	0.02	12	0.23	11	-	-	1	0.09	
19	5/9~5/15	53	-	-	14	0.26	11	-	-	1	0.09	
20	5/16~5/22	53	2	0.04	12	0.23	11	-	-	-	-	
21	5/23~5/29	53	1	0.02	12	0.23	11	-	-	-	-	
22	5/30~6/5	53	1	0.02	32	0.60	11	-	-	2	0.18	
23	6/6~6/12	53	2	0.04	14	0.26	11	-	-	4	0.36	
24	6/13~6/19	53	6	0.11	18	0.34	11	-	-	4	0.36	
25	6/20~6/26	53	37	0.70	23	0.43	11	-	-	4	0.36	
26	6/27~7/3	53	40	0.75	26	0.49	11	-	-	1	0.09	
27	7/4~7/10	53	55	1.04	34	0.64	11	-	-	5	0.45	
28	7/11~7/17	53	140	2.64	37	0.70	11	-	-	3	0.27	
29	7/18~7/24	53	104	1.96	35	0.66	11	-	-	1	0.09	
30	7/25~7/31	53	124	2.34	48	0.91	11	-	-	2	0.18	
31	8/1~8/7	53	127	2.40	32	0.60	11	-	-	5	0.45	
32	8/8~8/14	51	102	2.00	49	0.96	11	-	-	1	0.09	
33	8/15~8/21	53	49	0.92	46	0.87	11	1	0.09	6	0.55	
34	8/22~8/28	53	52	0.98	38	0.72	11	-	-	12	1.09	
35	8/29~9/4	53	45	0.85	33	0.62	11	-	-	6	0.55	
36	9/5~9/11	53	37	0.70	53	1.00	11	-	-	6	0.55	
37	9/12~9/18	53	45	0.85	54	1.02	11	-	-	12	1.09	
38	9/19~9/25	53	18	0.34	56	1.06	11	-	-	20	1.82	
39	9/26~10/2	53	42	0.79	48	0.91	11	-	-	26	2.36	
40	10/3~10/9	53	29	0.55	63	1.19	11	-	-	21	1.91	
41	10/10~10/16	53	14	0.26	36	0.68	11	-	-	16	1.45	
42	10/17~10/23	53	15	0.28	77	1.45	11	-	-	26	2.36	
43	10/24~10/30	52	11	0.21	45	0.87	11	-	-	11	1.00	
44	10/31~11/6	53	5	0.09	57	1.08	11	-	-	9	0.82	
45	11/7~11/13	53	2	0.04	63	1.19	11	-	-	13	1.18	
46	11/14~11/20	53	2	0.04	55	1.04	11	-	-	4	0.36	
47	11/21~11/27	53	-	-	45	0.85	11	-	-	-	-	
48	11/28~12/4	53	1	0.02	53	1.00	11	-	-	1	0.09	
49	12/5~12/11	53	-	-	74	1.40	11	-	-	8	0.73	
50	12/12~12/18	53	-	-	58	1.09	11	-	-	7	0.64	
51	12/19~12/25	53	2	0.04	55	1.04	11	-	-	4	0.36	
52	12/26~1/1	53	1	0.02	56	1.06	11	-	-	1	0.09	
週平均		-	21.56	0.41	32.40	0.61	-	0.04	0.00	5.38	0.49	
総数		-	1,121	21.17	1,685	31.83	-	2	0.18	280	25.45	

表4-4 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (基幹定点)

基幹定点(週報)			細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/4~1/10	5	-	-	3	0.60	17	3.40	-	-	1	0.20	
2	1/11~1/17	5	-	-	1	0.20	4	0.80	-	-	1	0.20	
3	1/18~1/24	5	-	-	2	0.40	5	1.00	-	-	-	-	
4	1/25~1/31	5	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-	-	
5	2/1~2/7	5	-	-	-	-	5	1.00	-	-	-	-	
6	2/8~2/14	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	
7	2/15~2/21	5	-	-	-	-	6	1.20	-	-	2	0.40	
8	2/22~2/28	5	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-	
9	2/29~3/6	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	4	0.80	
10	3/7~3/13	5	-	-	-	-	8	1.60	-	-	5	1.00	
11	3/14~3/20	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3	0.60	
12	3/21~3/27	5	-	-	4	0.80	5	1.00	-	-	1	0.20	
13	3/28~4/3	5	-	-	-	-	8	1.60	-	-	3	0.60	
14	4/4~4/10	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	6	1.20	
15	4/11~4/17	5	1	0.20	-	-	2	0.40	-	-	6	1.20	
16	4/18~4/24	5	-	-	1	0.20	7	1.40	-	-	7	1.40	
17	4/25~5/1	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	9	1.80	
18	5/2~5/8	5	-	-	-	-	5	1.00	-	-	9	1.80	
19	5/9~5/15	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	6	1.20	
20	5/16~5/22	5	-	-	-	-	7	1.40	-	-	4	0.80	
21	5/23~5/29	5	-	-	-	-	9	1.80	-	-	7	1.40	
22	5/30~6/5	5	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-	-	
23	6/6~6/12	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	1	0.20	
24	6/13~6/19	5	-	-	-	-	16	3.20	-	-	1	0.20	
25	6/20~6/26	5	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-	-	
26	6/27~7/3	5	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-	-	
27	7/4~7/10	5	-	-	-	-	17	3.40	-	-	-	-	
28	7/11~7/17	5	-	-	-	-	13	2.60	-	-	-	-	
29	7/18~7/24	5	-	-	1	0.20	11	2.20	-	-	-	-	
30	7/25~7/31	5	-	-	1	0.20	20	4.00	-	-	-	-	
31	8/1~8/7	5	-	-	1	0.20	16	3.20	-	-	-	-	
32	8/8~8/14	5	-	-	-	-	13	2.60	-	-	-	-	
33	8/15~8/21	5	-	-	-	-	11	2.20	-	-	-	-	
34	8/22~8/28	5	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-	-	
35	8/29~9/4	5	-	-	2	0.40	14	2.80	-	-	-	-	
36	9/5~9/11	5	-	-	2	0.40	15	3.00	-	-	-	-	
37	9/12~9/18	5	-	-	1	0.20	17	3.40	-	-	-	-	
38	9/19~9/25	5	-	-	1	0.20	11	2.20	-	-	-	-	
39	9/26~10/2	5	-	-	-	-	17	3.40	-	-	-	-	
40	10/3~10/9	5	-	-	-	-	29	5.80	-	-	-	-	
41	10/10~10/16	5	-	-	-	-	27	5.40	-	-	-	-	
42	10/17~10/23	5	-	-	2	0.40	33	6.60	-	-	-	-	
43	10/24~10/30	5	-	-	-	-	19	3.80	-	-	-	-	
44	10/31~11/6	5	-	-	1	0.20	19	3.80	-	-	-	-	
45	11/7~11/13	5	-	-	-	-	25	5.00	-	-	-	-	
46	11/14~11/20	5	-	-	1	0.20	11	2.20	-	-	-	-	
47	11/21~11/27	5	-	-	1	0.20	15	3.00	-	-	-	-	
48	11/28~12/4	5	-	-	-	-	13	2.60	-	-	-	-	
49	12/5~12/11	5	-	-	-	-	28	5.60	-	-	2	0.40	
50	12/12~12/18	5	-	-	1	0.20	9	1.80	-	-	1	0.20	
51	12/19~12/25	5	-	-	-	-	14	2.80	-	-	1	0.20	
52	12/26~1/1	5	-	-	-	-	14	2.80	-	-	9	1.80	
週平均			-	0.02	0.00	0.52	0.10	11.44	2.29	-	-	4.05	0.34
総数			-	1	0.20	27	5.40	595	119.00	-	-	89	17.80

表4-5 定点把握対象感染症 月別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)							
月	定点数	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症		薬剤耐性 緑膿菌 感染症	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	5	12	2.40	-	-	-	-
2	5	15	3.00	-	-	-	-
3	5	13	2.60	3	0.60	-	-
4	5	14	2.80	3	0.60	-	-
5	5	7	1.40	-	-	-	-
6	5	12	2.40	2	0.40	-	-
7	5	10	2.00	1	0.20	-	-
8	5	13	2.60	2	0.40	-	-
9	5	8	1.60	-	-	-	-
10	5	8	1.60	-	-	-	-
11	5	14	2.80	1	0.20	-	-
12	5	10	2.00	2	0.40	-	-
月平均		11.33	2.27	1.17	0.23	-	-
総数		136	27.20	14	2.80	-	-

性感染症定点													
月	定点数	性器クラミジア感染症						性器ヘルペスウイルス感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	16	1.07	9	0.60	7	0.47	6	0.40	2	0.13	4	0.27
2	15	17	1.13	14	0.93	3	0.20	7	0.47	5	0.33	2	0.13
3	15	19	1.27	12	0.80	7	0.47	3	0.20	2	0.13	1	0.07
4	15	15	1.00	4	0.27	11	0.73	5	0.33	2	0.13	3	0.20
5	15	16	1.07	8	0.53	8	0.53	5	0.33	4	0.27	1	0.07
6	15	20	1.33	11	0.73	9	0.60	5	0.33	3	0.20	2	0.13
7	15	17	1.13	7	0.47	10	0.67	5	0.33	3	0.20	2	0.13
8	15	21	1.40	14	0.93	7	0.47	5	0.33	3	0.20	2	0.13
9	15	23	1.53	10	0.67	13	0.87	5	0.33	4	0.27	1	0.07
10	15	20	1.33	12	0.80	8	0.53	4	0.27	3	0.20	1	0.07
11	15	17	1.13	10	0.67	7	0.47	5	0.33	5	0.33	-	-
12	15	17	1.13	13	0.87	4	0.27	5	0.33	4	0.27	1	0.07
月平均		18.17	1.21	10.33	0.69	7.83	0.52	5.00	0.33	3.33	0.22	1.67	0.11
総数		218	14.53	124	8.27	94	6.27	60	4.00	40	2.67	20	1.33

性感染症定点													
月	定点数	尖圭コンジローマ						淋菌感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	6	0.40	4	0.27	2	0.13	7	0.47	6	0.40	1	0.07
2	15	7	0.47	6	0.40	1	0.07	10	0.67	6	0.40	4	0.27
3	15	6	0.40	5	0.33	1	0.07	7	0.47	5	0.33	2	0.13
4	15	8	0.53	8	0.53	-	-	8	0.53	6	0.40	2	0.13
5	15	6	0.40	6	0.40	-	-	8	0.53	5	0.33	3	0.20
6	15	3	0.20	3	0.20	-	-	7	0.47	5	0.33	2	0.13
7	15	7	0.47	7	0.47	-	-	5	0.33	4	0.27	1	0.07
8	15	4	0.27	4	0.27	-	-	11	0.73	6	0.40	5	0.33
9	15	7	0.47	6	0.40	1	0.07	10	0.67	9	0.60	1	0.07
10	15	5	0.33	4	0.27	1	0.07	13	0.87	11	0.73	2	0.13
11	15	10	0.67	10	0.67	-	-	10	0.67	9	0.60	1	0.07
12	15	9	0.60	5	0.33	4	0.27	15	1.00	11	0.73	4	0.27
月平均		6.50	0.43	5.67	0.38	0.83	0.06	9.25	0.62	6.92	0.46	2.33	0.16
総数		78	5.20	68	4.53	10	0.67	111	7.40	83	5.53	28	1.87

表5-1 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

インフルエンザ定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	34,812 400.31	138 1.59	240 2.76	795 9.14	869 9.99	1,145 13.17	1,569 18.04	1,842 21.18	1,933 22.23	1,898 21.83	1,602 18.42	1,531 17.61	5,454 62.72	1,663 19.12	1,996 22.95	3,126 35.95	3,045 35.02	2,128 24.47	1,757 20.20	1,078 12.40	1,003 11.53
小児科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症	1,074 20.29	330 6.23	265 5.01	285 5.38	103 1.95	48 0.91	20 0.38	8 0.15	3 0.06	3 0.06	3 0.06	2 0.04	2 0.04	1 0.02	1 0.02						
咽頭結膜熱	771 14.56	5 0.09	48 0.91	145 2.74	108 2.04	140 2.64	135 2.55	62 1.17	48 0.91	28 0.53	20 0.38	14 0.26	14 0.26	1 0.02	3 0.06						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,128 59.08	1 0.02	17 0.32	104 1.96	190 3.59	346 6.54	448 8.46	515 9.73	356 6.72	325 6.14	229 4.33	174 3.29	318 6.01	30 0.57	75 1.42						
感染性胃腸炎	11,148 210.57	111 2.10	583 11.01	1,402 26.48	1,259 23.78	1,312 24.78	1,266 23.91	1,106 20.89	846 15.98	667 12.60	470 8.88	414 7.82	1,053 19.89	127 2.40	532 10.05						
水痘	550 10.39	4 0.08	17 0.32	35 0.66	32 0.60	47 0.89	89 1.68	135 2.55	66 1.25	44 0.83	27 0.51	17 0.32	32 0.60	-	5 0.09						
手足口病	943 17.81	8 0.15	71 1.34	290 5.48	190 3.59	145 2.74	102 1.93	59 1.11	37 0.70	11 0.21	7 0.13	3 0.06	8 0.15	2 0.04	10 0.19						
伝染性紅斑	366 6.91	-	3 0.06	21 0.40	16 0.30	32 0.60	74 1.40	71 1.34	48 0.91	35 0.66	25 0.47	15 0.28	19 0.36	1 0.02	6 0.11						
突発性発しん	784 14.81	13 0.25	319 6.03	369 6.97	57 1.08	14 0.26	4 0.08	1 0.02	2 0.04	1 0.02	2 0.04	1 0.02	1 0.02	-	-						
百日咳	39 0.74	13 0.25	3 0.06	3 0.06	-	1 0.02	2 0.04	-	1 0.02	2 0.04	2 0.04	3 0.06	7 0.13	-	2 0.04						
ヘルパンギーナ	1,121 21.17	9 0.17	77 1.45	295 5.57	209 3.95	194 3.66	135 2.55	93 1.76	46 0.87	22 0.42	15 0.28	12 0.23	11 0.21	1 0.02	2 0.04						
流行性耳下腺炎	1,685 31.83	-	5 0.09	53 1.00	102 1.93	199 3.76	260 4.91	314 5.93	236 4.46	183 3.46	133 2.51	68 1.28	112 2.12	4 0.08	16 0.30						
眼科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	2 0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.09	-	-	-	-	1 0.09	-	-
流行性角結膜炎	280 25.45	2 0.18	2 0.18	14 1.27	10 0.91	11 1.00	9 0.82	6 0.55	10 0.91	7 0.64	3 0.27	5 0.45	19 1.73	11 1.00	27 2.45	66 6.00	24 2.18	18 1.64	22 2.00	14 1.27	
基幹定点(週報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.20	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	27 5.40	-	5 1.00	18 3.60	3 0.60	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	595 119.00	2 0.40	97 19.40	241 48.20	162 32.40	19 3.80	7 1.40	4 0.80	8 1.60	11 2.20	8 1.60	6 1.20	1 0.20	4 0.80	2 0.40	9 1.80	14 2.80				
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	89 17.80	6 1.20	72 14.40	8 1.60	1 0.20	-	-	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	1 0.20	-				

※ 上段:報告数、下段:定点当り報告数

表5-2 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	136	1	6	3	2	-	-	1	-	-	5	1	2	4	8	10	93
	27.20	0.20	1.20	0.60	0.40	-	-	0.20	-	-	1.00	0.20	0.40	0.80	1.60	2.00	18.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14	-	1	1	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	7
	2.80	-	0.20	0.20	0.20	-	-	-	0.40	-	0.40	-	-	-	-	-	1.40
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性感染症定点		総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
性器クラミジア感染症	男女計	218	-	-	-	2	23	55	52	33	25	13	6	7	2	-	-	-
		14.53	-	-	-	0.13	1.53	3.67	3.47	2.20	1.67	0.87	0.40	0.47	0.13	-	-	-
	男	124	-	-	-	-	8	27	28	19	20	11	4	6	1	-	-	-
	8.27	-	-	-	-	0.53	1.80	1.87	1.27	1.33	0.73	0.27	0.40	0.07	-	-	-	
	女	94	-	-	-	2	15	28	24	14	5	2	2	1	1	-	-	-
	6.27	-	-	-	-	0.13	1.00	1.87	1.60	0.93	0.33	0.13	0.13	0.07	0.07	-	-	-
性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	60	-	-	-	-	7	10	12	5	8	3	6	-	6	2	1	-
		4.00	-	-	-	-	0.47	0.67	0.80	0.33	0.53	0.20	0.40	-	0.40	0.13	0.07	-
	男	40	-	-	-	-	6	8	7	5	8	1	1	-	3	1	-	-
	2.67	-	-	-	-	0.40	0.53	0.47	0.33	0.53	0.07	0.07	-	0.20	0.07	-	-	
	女	20	-	-	-	-	1	2	5	-	-	2	5	-	3	1	1	-
	1.33	-	-	-	-	-	0.07	0.13	0.33	-	-	0.13	0.33	-	0.20	0.07	0.07	-
尖圭コンジローマ	男女計	78	-	1	-	-	-	13	12	12	15	9	7	5	1	2	-	1
		5.20	-	0.07	-	-	-	0.87	0.80	0.80	1.00	0.60	0.47	0.33	0.07	0.13	-	0.07
	男	68	-	-	-	-	-	10	11	12	15	6	6	5	1	2	-	-
	4.53	-	-	-	-	-	0.67	0.73	0.80	1.00	0.40	0.40	0.33	0.07	0.13	-	-	
	女	10	-	1	-	-	-	3	1	-	-	3	1	-	-	-	-	1
	0.67	-	0.07	-	-	-	-	0.20	0.07	-	-	0.20	0.07	-	-	-	-	0.07
淋菌感染症	男女計	111	-	-	-	-	10	25	28	21	11	10	1	1	2	-	2	-
		7.40	-	-	-	-	0.67	1.67	1.87	1.40	0.73	0.67	0.07	0.07	0.13	-	0.13	-
	男	83	-	-	-	-	8	18	21	14	10	8	1	1	1	-	1	-
	5.53	-	-	-	-	0.53	1.20	1.40	0.93	0.67	0.53	0.07	0.07	0.07	-	0.07	-	
	女	28	-	-	-	-	2	7	7	7	1	2	-	-	1	-	1	-
	1.87	-	-	-	-	-	0.13	0.47	0.47	0.47	0.07	0.13	-	0.07	-	0.07	-	-

※ 上段:報告数、下段:定点当り報告数

表6-1 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年-
(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

定点種別	疾患名	総数	保健所							
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ	インフルエンザ	34.812	7.839	6,830	5,434	3,662	2,522	3,529	1,974	3,022
		400.31	559.93	402.22	362.27	457.75	315.25	441.13	282.78	302.20
小児科	RSウイルス感染症	1,074	304	251	147	86	108	90	28	60
		20.29	33.78	25.15	16.33	17.27	21.60	18.00	7.03	10.00
	咽頭結膜熱	771	174	196	102	31	50	70	98	50
		14.56	19.33	19.64	11.33	6.22	10.00	14.00	24.62	8.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,128	533	962	419	201	159	187	166	501
		59.08	59.22	96.39	46.56	40.36	31.80	37.40	41.70	83.50
	感染性胃腸炎	11,148	2,280	3,313	1,138	1,650	789	896	841	241
		210.57	253.33	331.94	126.44	331.27	157.80	179.20	211.27	40.17
	水痘	550	96	191	51	49	26	41	68	28
		10.39	10.67	19.14	5.67	9.84	5.20	8.20	17.08	4.67
	手足口病	943	220	422	130	60	36	30	28	17
		17.81	24.44	42.28	14.44	12.05	7.20	6.00	7.03	2.83
	伝染性紅斑	366	94	130	47	18	36	32	8	1
	6.91	10.44	13.03	5.22	3.61	7.20	6.40	2.01	0.17	
突発性発しん	784	195	209	168	37	51	32	77	15	
	14.81	21.67	20.94	18.67	7.43	10.20	6.40	19.34	2.50	
百日咳	39	13	13	10	-	-	-	-	3	
	0.74	1.44	1.30	1.11	-	-	-	-	0.50	
ヘルパンギーナ	1,121	251	373	132	184	30	66	43	42	
	21.17	27.89	37.37	14.67	36.94	6.00	13.20	10.80	7.00	
流行性耳下腺炎	1,685	297	471	416	217	160	98	22	4	
	31.83	33.00	47.19	46.22	43.57	32.00	19.60	5.53	0.67	
眼科	急性出血性結膜炎	2	2	-	-	-	-	-	-	-
		0.18	1.00	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	280	48	22	61	122	2	25	-	
		25.45	24.00	11.00	20.33	122.00	2.00	25.00	-	

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (週報)	細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-
		0.20	-	1.00	-	-	-
	無菌性髄膜炎	27	-	27	-	-	-
		5.40	-	27.00	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	595	2	371	64	3	155
		119.00	2.00	371.00	64.00	3.00	155.00
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	89	-	45	-	22	22
		17.80	-	45.00	-	22.00	22.00

※ 上段: 報告数、下段: 定点当り報告数

表6-2 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2016年- (基幹定点・性感染症定点)

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (月報)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	136 27.20	19 19.00	25 25.00	30 30.00	37 37.00	25 25.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14 2.80	- -	- -	1 1.00	- -	13 13.00
	薬剤耐性緑膿菌感染症	- -	- -	- -	- -	- -	- -

定点種別	疾患名	総数	保健所								
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨	
性感染症	性器クラミジア感染症	男女計	218 14.53	74 24.67	66 33.00	41 13.67	11 11.00	20 10.00	4 2.00	2 2.00	- -
		男	124 8.27	46 15.33	49 24.50	21 7.00	- -	5 2.50	3 1.50	- -	- -
		女	94 6.27	28 9.33	17 8.50	20 6.67	11 11.00	15 7.50	1 0.50	2 2.00	- -
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	60 4.00	14 4.67	29 14.50	2 0.67	1 1.00	1 0.50	13 6.50	- -	- -
		男	40 2.67	14 4.67	20 10.00	1 0.33	- -	1 0.50	4 2.00	- -	- -
		女	20 1.33	- -	9 4.50	1 0.33	1 1.00	- -	9 4.50	- -	- -
	尖圭コンジローマ	男女計	78 5.20	19 6.33	26 13.00	25 8.33	3 3.00	3 1.50	2 1.00	- -	- -
		男	68 4.53	18 6.00	25 12.50	23 7.67	- -	1 0.50	1 0.50	- -	- -
		女	10 0.67	1 0.33	1 0.50	2 0.67	3 3.00	2 1.00	1 0.50	- -	- -
	淋菌感染症	男女計	111 7.40	21 7.00	58 29.00	19 6.33	- -	9 4.50	3 1.50	1 1.00	- -
		男	83 5.53	18 6.00	37 18.50	18 6.00	- -	8 4.00	2 1.00	- -	- -
		女	28 1.87	3 1.00	21 10.50	1 0.33	- -	1 0.50	1 0.50	1 1.00	- -

※ 上段: 報告数、下段: 定点当り報告数

表7 病原体検出状況 -2016年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
インフルエンザ *1	検査症例数	37	22	11	9	1		4		3	2	4	18	111
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	20	14	1	2									37
	インフルエンザウイルス AH3	1						3		3	2	4	18	31
	インフルエンザウイルス B型	11	9	9	7	1								37
RSウイルス感染症	検査症例数				2					4	10	5	2	23
	RSウイルス				2					3	8	4	2	19
咽頭結膜熱	検査症例数				2	5	3	1	2	1		2	1	17
	アデノウイルス1型					1								1
	アデノウイルス2型				1	2	2	1				1		7
	アデノウイルス3型				1				1	1		1	1	5
	アデノウイルス4型					2			1					3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	検査症例数				5	6	4	3	1			2	2	23
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型					2	1					1		4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型				2		2	2						6
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T6型					1	1							2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型				2	3		1						6
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T25型											1		1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型								1				2	3
<i>Streptococcus pyogenes</i> T型別不能				1									1	
感染性胃腸炎 *2	検査症例数				1	2	3	2		4	3		3	18
	ノロウイルスGII					1							1	2
	サポウイルスGI									1				1
	A群ロタウイルス					1							2	3
	アデノウイルス(未型別)							1			1			2
	ライノウイルス												1	1
	下痢原性大腸菌(EAST1EC)									1				1
	下痢原性大腸菌(EAaggEC)												1	1
	サルモネラ O8群										1			1
	サルモネラ O40群										1			1
不検出				1		3	1		2				7	
手足口病	検査症例数						3	5	2	5	3	3	2	23
	コクサッキーウイルスA2型								1					1
	コクサッキーウイルスA4型						1							1
	コクサッキーウイルスA6型						1	3	1	4	2	1	2	14
	コクサッキーウイルスA16型									1	1			2
	エンテロウイルス71型											1		1
	ヒトパレコウイルス3型						1							1
	ライノウイルス												1	1
不検出								2				1	3	
伝染性紅斑	検査症例数				1									1
	バルボウイルスB19				1									1
突発性発しん	検査症例数											1		1
	ヒトヘルペスウイルス6型											1		1
百日咳	検査症例数				2		1		1	1		2	1	8
	百日咳菌				2				1			1		4
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>											1		1
ヘルパンギーナ	検査症例数						2	3	7	3	1			16
	コクサッキーウイルスA2型								3		1			4
	コクサッキーウイルスA4型						1	1	1					3
	コクサッキーウイルスA5型									1				1
	コクサッキーウイルスA6型							1		2				3
	ヒトパレコウイルス3型									2				2
	単純ヘルペスウイルス1型					1								1
不検出							1	1					2	
流行性耳下腺炎 *3	検査症例数				3	1	1		2	3	5	4	1	20
	ムンプスウイルス				3				1	3	3	4	1	15
	ライノウイルス											2		2
無菌性髄膜炎	検査症例数			1		1	1	2	4				1	10
	コクサッキーウイルスA2型								1					1
	コクサッキーウイルスB5型								2					2
	ムンプスウイルス												1	1
	不検出			1		1	1		3					6

*1 AH1pdm09とB型の重複検出1例(2月)を含む

*2 ノロウイルスG2、ライノウイルス、下痢原性大腸菌(EAaggEC)の重複検出1例(12月)を含む
サルモネラO40群の血清型別は国立感染症研究所で実施

*3 ムンプスウイルスとライノウイルスの重複検出2例(ともに11月)を含む

表7(続き) 病原体検出状況 -2016年-

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
腸管出血性大腸菌 感染症 *1	検査症例数	2		3			6	7	15	9	1	2	2	47
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2						4	2	1	3				10
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2						1	5	2	4	1	1	1	15
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2									1			1	2
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT2									1				1
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1									6				6
	<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1	2					1							3
	<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1			3										3
	<i>Escherichia coli</i> O137:H41 VT2									1				1
	<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT1											1		1
<i>Escherichia coli</i> VT-									5				5	
腸チフス	検査症例数									1				1
	<i>Salmonella</i> Typhi									1				1
E型肝炎	検査症例数							1	1					2
	E型肝炎ウイルス							1	1					2
ジカウイルス感染 症疑い	検査症例数	1	1										2	4
	不検出	1	1										2	4
つつが虫病	検査症例数											1		1
	不検出											1		1
デング熱	検査症例数	1	1		1	2			2	1	2			10
	デングウイルス1型									1				1
	デングウイルス2型				1									1
	デングウイルス3型					1								1
	不検出	1	1			1			2		2			7
日本紅斑熱疑い	検査症例数						1		1	1	1			4
	不検出						1		1	1	1			4
ポツリヌス症 *2	検査症例数								1					1
	ポツリヌス菌								1					1
レジオネラ症	検査症例数	1		1		1			1		1	1		6
	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1	1							1		1	1		4
ウイルス性肝炎	検査症例数								1					1
	ヒトパレコウイルス3型								1					1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症	検査症例数			1	1	1	2	1	2	1				9
	<i>Escherichia coli</i> (IMP-1型MBL産生)			1										1
	<i>Enterobacter asburiae</i> (IMP-1型MBL産生)								1					1
	<i>Escherichia coli</i> (カルバペネマーゼ非産生)						1							1
	<i>Enterobacter aerogenes</i> (カルバペネマーゼ非産生)									1				1
	<i>Enterobacter cloacae</i> (カルバペネマーゼ非産生)				1	1					1			3
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (カルバペネマーゼ非産生)						1							1
	<i>Serratia marcescens</i> (カルバペネマーゼ非産生)									1				1
	検査症例数	1	2			1	1				1	2		8
	急性脳炎(脳症を 含む)	インフルエンザウイルス B型		1										
	ノロウイルスGII		1											1
	RSウイルス										1			1
	不検出	1			1	1				1	1		5	
劇症型溶血性レン サ球菌感染症	検査症例数				1					1	1			3
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型				1									1
	<i>Streptococcus agalactiae</i>									1				1
	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>										1			1
侵襲性髄膜炎菌感 染症 *3	検査症例数		1	1										2
	<i>Neisseria meningitidis</i> Y群		1	1										2
播種性クリプトコ クス症 *4	検査症例数					1								1
	<i>Cryptococcus neoformans</i>					1								1
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	検査症例数										1			1
	<i>Enterococcus faecium</i> (vanA型)										1			1
麻疹	検査症例数					2				2	1		1	6
	風疹ウイルス					1								1
	不検出					1				2	1		1	5
風疹	検査症例数					5	1					1		7
	風疹ウイルス					1								1
	不検出					4	1					1		6

*1 O137:H41の血清型別は国立感染症研究所にて実施

*2, 4 検査は国立感染症研究所にて実施

*3 血清型別は国立感染症研究所にて実施

表7(続き) 病原体検出状況 -2016年-

(その他の疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
心筋炎 *1	検査症例数	1		1										2
	パルボウイルスB19	1												1
	ヒトヘルペスウイルス7型	1												1
	インフルエンザウイルス AH1pdm09			1										1
下気道炎 *2	検査症例数		1					1				1	1	4
	インフルエンザウイルス AH1pdm09		1											1
	ライノウイルス							1						1
	<i>Moraxella catarrhalis</i>							1						1
上気道炎	検査症例数								1	1				2
	不検出								1	1				2
その他 *3	検査症例数		1	1				1	1			1	1	6
	エコーウイルス3型												1	1
	不検出		1	1				1	1			1		5

*1 パルボウイルスB19とヒトヘルペスウイルス7型の重複検出1例(1月)を含む

*2 ライノウイルスと*Moraxella catarrhalis*の重複検出1例(7月)を含む

*3 臨床診断名は、無呼吸発作(2月)、肺高血圧症(3月)、新生児発熱(7月)、無呼吸(8月)、ウイルス性敗血症(11月)、アデノウイルス感染(12月)

(小学校等インフルエンザ集団発生時のウイルス検査)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
インフルエンザ	検査症例数	58	9								4			71
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	13	2											15
	インフルエンザウイルス B型	16									3			19
	不検出	29	7								1			37

岐阜県感染症発生動向調査年報 2016 年（平成 28 年）
2017 年 11 月発行

岐阜県保健環境研究所
疫学情報部 感染症情報センター

〒504-0838 各務原市那加不動丘 1 丁目 1 番地

TEL 058-380-2100（代） FAX 058-371-5016

E-mail c22614@pref.gifu.lg.jp

HP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>